

経営発達支援計画認定商工会

令和3年度

「高松市中央商工会 管内景況調査」

調査結果報告書

令和4年3月

I 調査結果の概要

II 調査結果

本調査結果に関する お問い合わせ先

高 松 市 中 央 商 工 会

〒761-1706

高松市香川町川東上 1743-9

TEL:087-879-2498

FAX:087-879-2470

【Ⅰ. 調査の目的】

本調査は、高松市中央商工会管内の経済動向を財務状況や雇用状況、資金調達環境や設備投資の動向、総合的な状況から考えられる自社の業況等の項目において調査・分析することにより、地域及び各業種等の最近の状況や傾向を把握し、小規模事業者が自社の現状を把握できるように情報提供支援を実施する際の参考資料とすることを目的に行われた調査である。

【Ⅱ. 調査項目】

調査は、会員企業の経営状況について下記の項目にて実施した。

1. 属 性

- (ア) 業 種
- (イ) 事業形態
- (ウ) 営業年数
- (エ) 従業員規模

2. 経営状況等（昨年同時期との比較及び2年前同時期との比較）

- (ア) 売上高
- (イ) 採算・経常利益
- (ウ) 客（受注）数
- (エ) 客（製品）単価
- (オ) 経費
- (カ) 資金繰り
- (キ) 雇用者数
- (ク) 設備投資
- (ケ) 今後の見通し（売上）

3. 新型コロナウイルス感染症の影響と今後

- (ア) 「まん延防止」解除後（10月以降）の売上
- (イ) 今後（コロナ終息後）に取り組みたいこと
- (ウ) 今後の事業活動の方向性
- (エ) 労務管理面の対策状況
- (オ) 今後の見通し（売上）

4. 消費税『インボイス』制度

- (ア) 制度の内容
- (イ) 取引先が免税事業者（仕入控除できない）の場合

【Ⅲ. 調査方法】

- (1) 調査対象：高松市中央商工会の管内中小企業・小規模事業者 1,250件
- (2) 調査機関：令和3年11月5日（金）～令和3年12月28日（火）
- (3) 調査方法：郵送による任意記名調査方式（配布及び回収）
- (4) 回答結果：174件

調査結果の概要

1. 最近（令和3年7月～9月）の経営状況等の新型コロナウイルス「流行中（昨年同時期）及び「流行前（2年前同時期）」との比較

① 1年前（コロナ中）との比較

全体的に「流行前（2年前同時期）」との比較」での回答と同じ傾向を示しており、1年前の厳しい経営状況に更に厳しさを増している状況がうかがえる。

売上高は「減った」と回答した事業者が多く、採算（経常利益）も同様に「減った」と回答した事業者が多いことから、全体的に厳しい経営状況であることがうかがえる。特に「飲食業」での厳しさが目立っている。

客（受注）数は「減った」と回答した事業者が多く、客（製品）単価は「変わらない」と回答している事業者が多いが、「下落」と回答した事業者も少なからずあることから、売上数量の減少だけでなく実質的にデフレ経済が継続していることもわかる。なお客（受注）数は「飲食業」で「減った」割合が高くなっている。

資金繰りは「変わらない」と回答した事業者が半数を占めるが「苦しくなった」と回答した事業者も多く、資金繰りが厳しい状況にある事業者が多い。

雇用者数は「変わらない」と回答した事業者がほとんどであり、設備投資も「変わらない」とした事業者が7割近くを占めている。業種別では「製造業」で「増やした」割合が相対的に高くなっている。

② 2年前（コロナ前）との比較

売上高は「減った」と回答した事業者が多く、非常に厳しい経営状況の事業者が多い。業種別では特に「飲食業」で売上高が「大幅に減った」と回答した割合が高くなっている。また採算（経常利益）面でも「減った」と回答した事業者が約半数と高く、非常に厳しい経営状況の事業者が多い。

客（受注）数は「減った」と回答した事業者が約半数で特に「飲食業」で「減った」割合が高い。

資金繰りは「変わらない」と回答した事業者が半数を占めるが「苦しくなった」と回答した事業者も4割程度あり、厳しい状況にある事業者が多い。

雇用者数は「変わらない」と回答した事業者がほとんどである。

設備投資は「変わらない」とした事業者が多くを占めているが業種別では「製造業」「建設業」が相対的に「増やした」割合が高くなっている。

2. 新型コロナウイルス感染症の影響と今後について

① 「まん延防止」解除後（10月以降）の売上

「横ばい」と回答した事業者が過半数となっており、「増えた」と回答した事業者は2割に留まっている。業種別では「飲食業」で「増えた」割合が4割程度と高く、「小売業」は「(大幅に)減った」割合が4割程度と高くなっている。

② 今後（コロナ終息後）に取り組みたいこと

「業務の効率化」や「設備投資」が多く、競争力強化に向けた基盤づくりへの意識の高さがうかがえる。

③ 今後の事業活動の方向性

約80%とほとんどの事業者は「今後も事業を継続する」と回答している。

④ 今後の見通し（売上）

「変わらない」と回答した割合が45%と多く、「良くなる」「悪くなる」と回答した割合は25～26%とほぼ同水準となっている。

業種別では「製造業」「飲食業」で「良くなる」と回答した割合が相対的に高くなっている。

3. 消費税『インボイス制度』について

① 制度の内容について

「聞いたことはあるが内容はわからない」が42%と多く、「知らない」も39%で実質的にはほとんどの事業者が理解していないのが現状である。

② 取引先が免除事業者（仕入控除できない）の場合

制度自体の認識が低いこともあり「わからない」と回答した割合が多くなっている。

調査結果

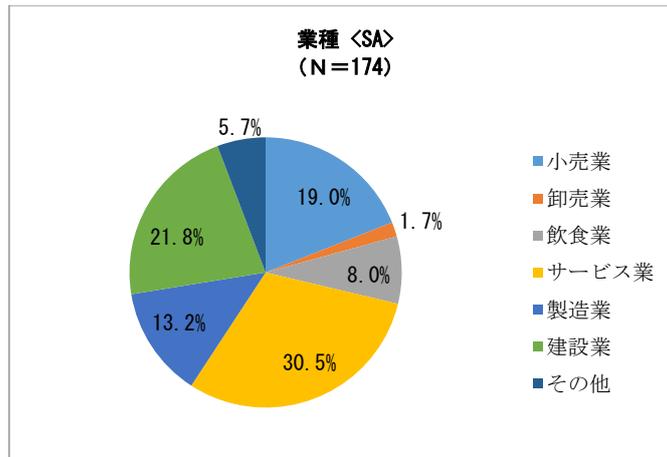
設問1 属性について

(ア) 業 種

業種は多い方から「サービス業」「建設業」「小売業」「製造業」である。

	全 体	小売業	卸売業	飲食業	サービス業	製造業	建設業	その他
件 数	174	33	3	14	53	23	38	10
%	100.0	19.0	1.7	8.0	30.5	13.2	21.8	5.7

※その他（ダンススクール、医療業、修理業、不動産業、不動産賃貸業）

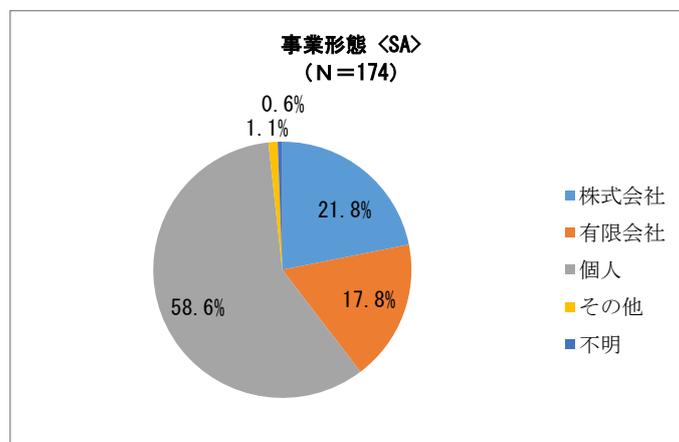


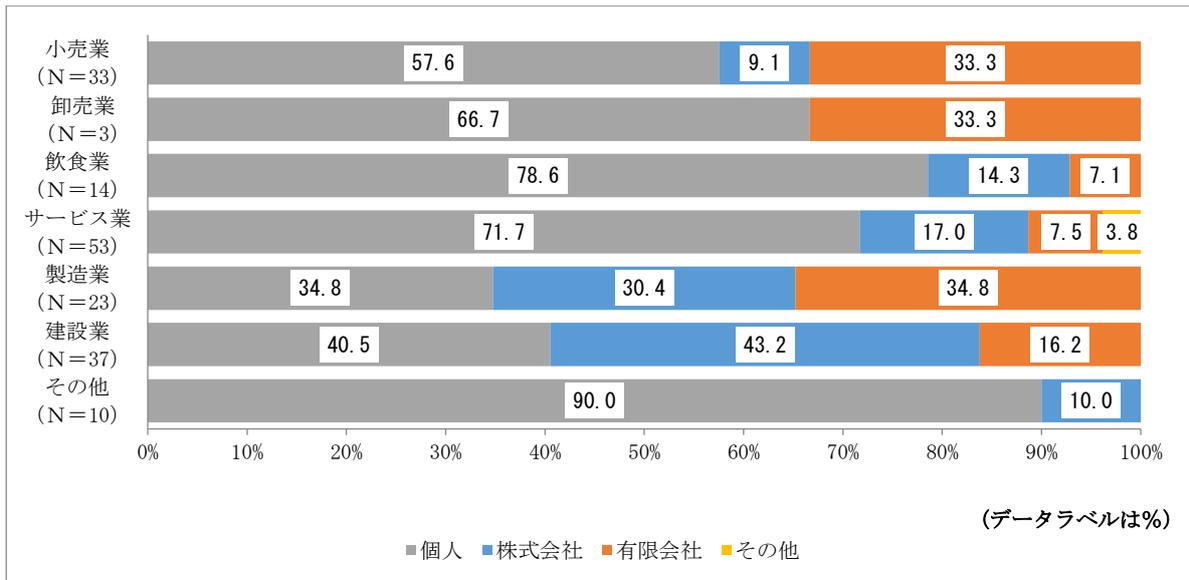
(イ) 事業形態

事業形態は「個人」が約 6 割、「法人」が約 4 割で、法人では「株式会社」がやや多い。業種別では「製造業」「建設業」は「法人」が多く、他の業種は「個人」が多い。

	全 体	株式会社	有限会社	個人	その他	不明
件 数	174	38	31	102	2	1
%	100.0	21.8	17.8	58.6	1.1	0.6

※その他（事業協同組合）

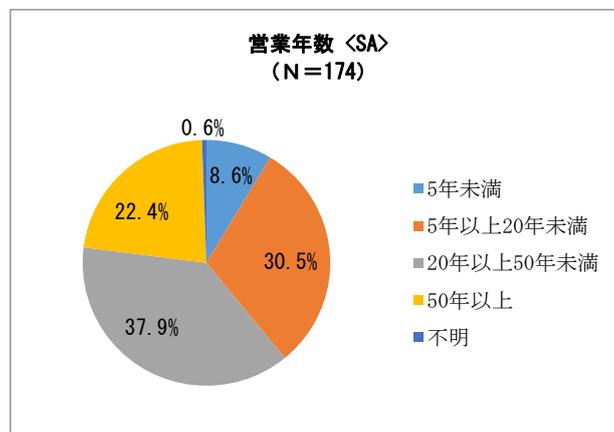


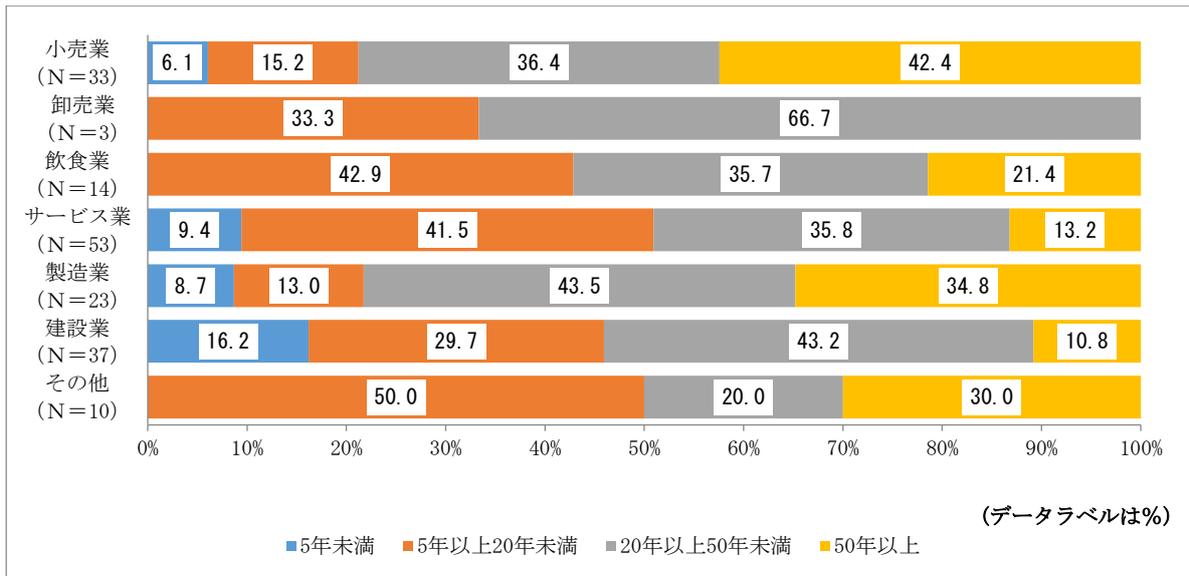


(ウ) 営業年数

営業年数は「20年以上50年未満」が38%と多く、次いで「5年以上20年未満」が31%。業種別では「小売業」「製造業」で「50年以上」の割合が相対的に高い。

	全 体	5年未満	5年以上20年未満	20年以上50年未満	50年以上	不明
件数	174	15	53	66	39	1
%	100.0	8.6	30.5	37.9	22.4	0.6

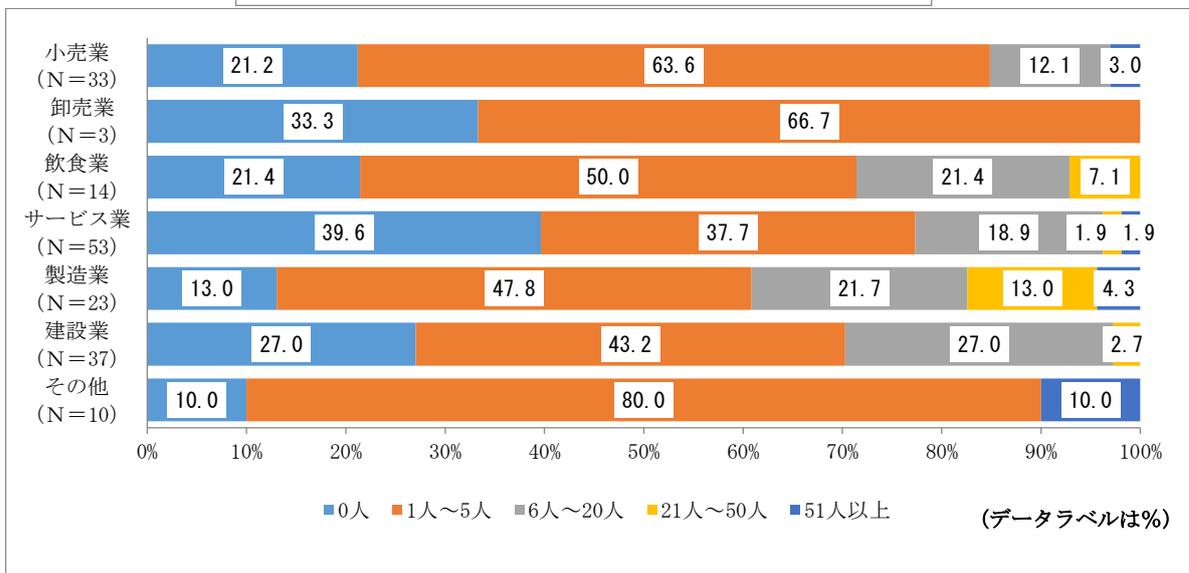
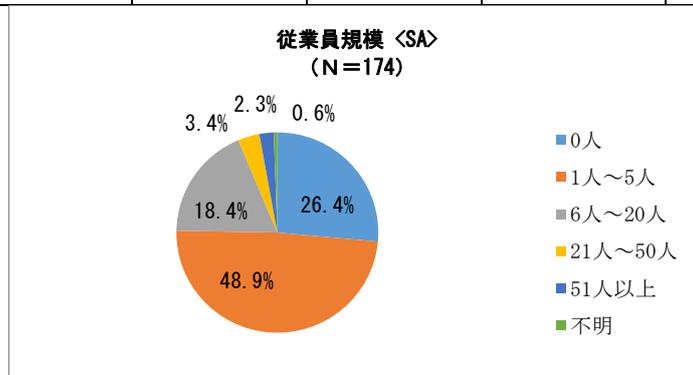




(エ) 従業員規模

「1人～5人」が全体の約半数を占めており、「0人」が26%、「6人～20人」18%と小規模事業者が殆どである。「製造業」は規模が大きい割合が比較的高い。

	全体	0人	1人～5人	6人～20人	21人～50人	51人以上	不明
件数	174	46	85	32	6	4	1
%	100.0	26.4	48.9	18.4	3.4	2.3	0.6



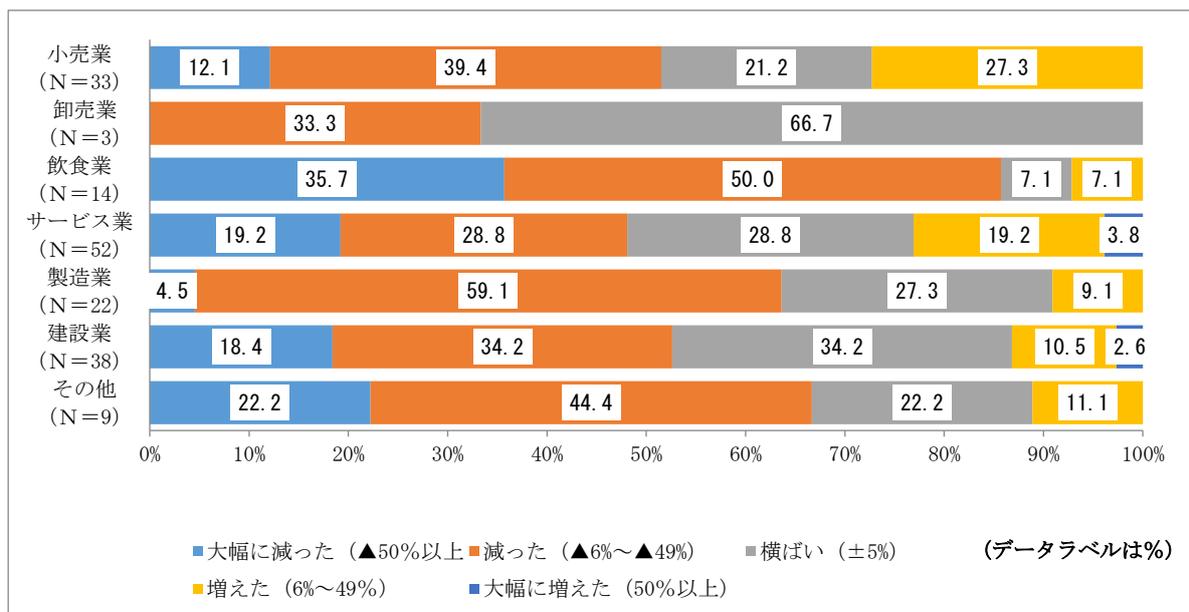
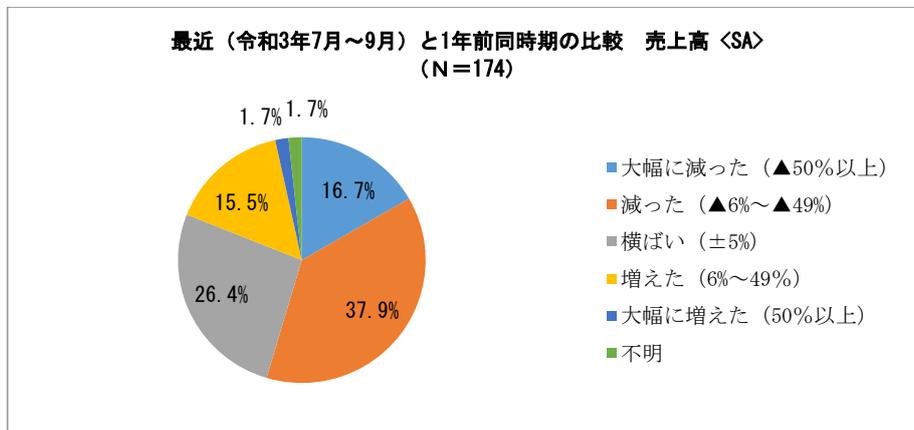
設問2 最近（令和3年7月～9月）の経営状況等の新型コロナウイルス「流行中（昨年同時期）及び「流行前（2年前同時期）」との比較

① 1年前（コロナ中）との比較

(ア) 売上高

売上高は「減った」と回答した事業者が38%と多く、「大幅に減った」17%と合わせると55%となり、非常に厳しい経営状況の事業者が多い。業種別では「飲食業」「製造業」で「(大幅に)減った」割合が60%を超えている。

	全体	大幅に減った (▲50%以上)	減った (▲6%～▲49%)	横ばい (±5%)	増えた (6%～49%)	大幅に増えた (50%以上)	不明
件数	174	29	66	46	27	3	3
%	100.0	16.7	37.9	26.4	15.5	1.7	1.7

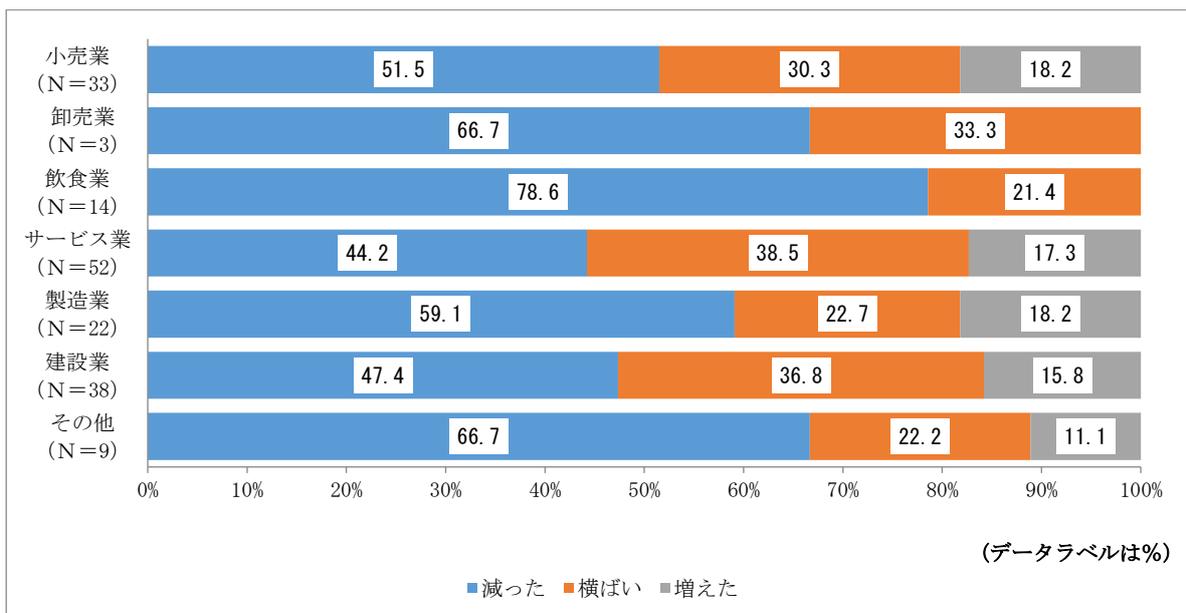
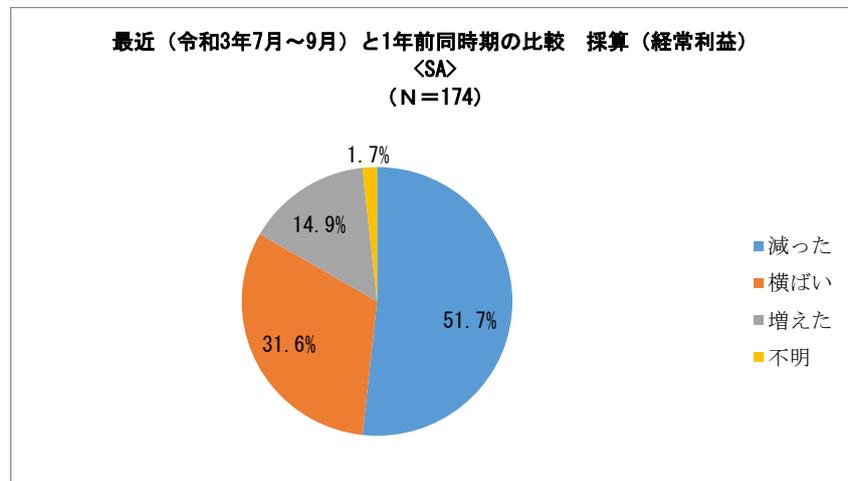


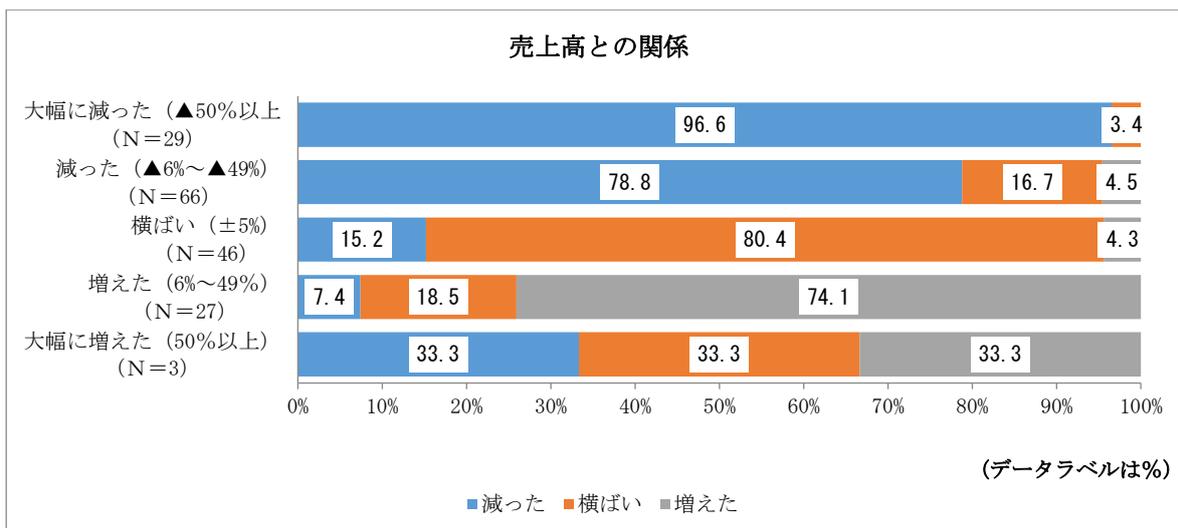
(イ) 採算（経常利益）

採算（経常利益）は「減った」と回答した事業者が 52%と多く、反対に「増えた」と回答した事業者は 15%に留まっており、非常に厳しい経営状況の事業者が多い。

- ・業種別では「サービス業」「建設業」以外は 50%超が「減った」と回答しており、特に「飲食業」では80%近くが「減った」と回答している。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に) 減った」と回答した事業者は採算（経常利益）が「減った」と回答している割合が高くなっている。

	全体	減った	横ばい	増えた	不明
件数	174	90	55	26	3
%	100.0	51.7	31.6	14.9	1.7



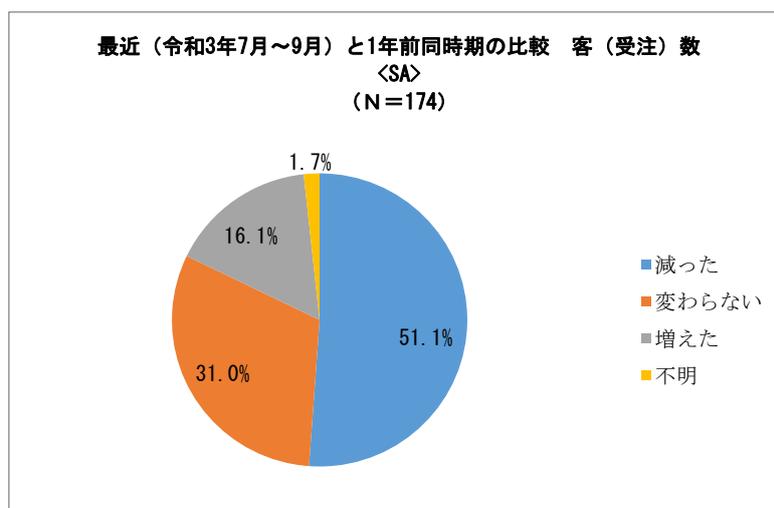


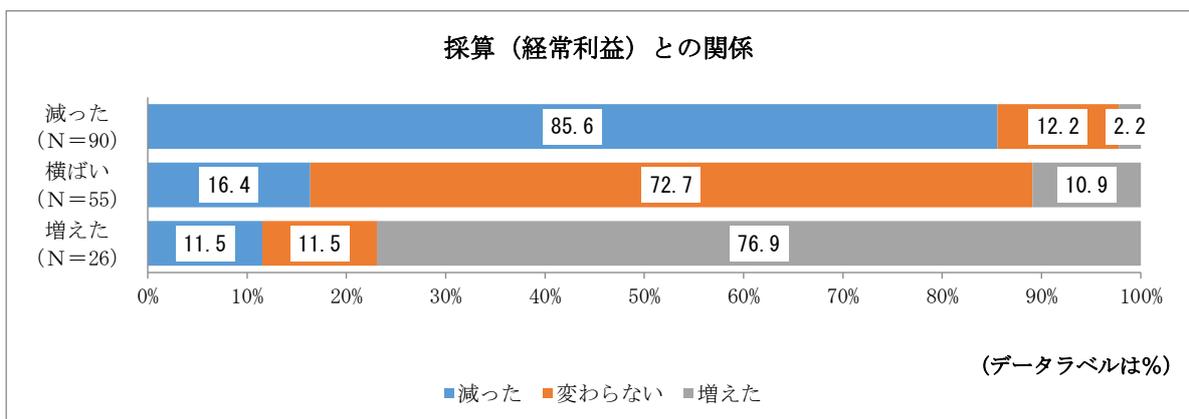
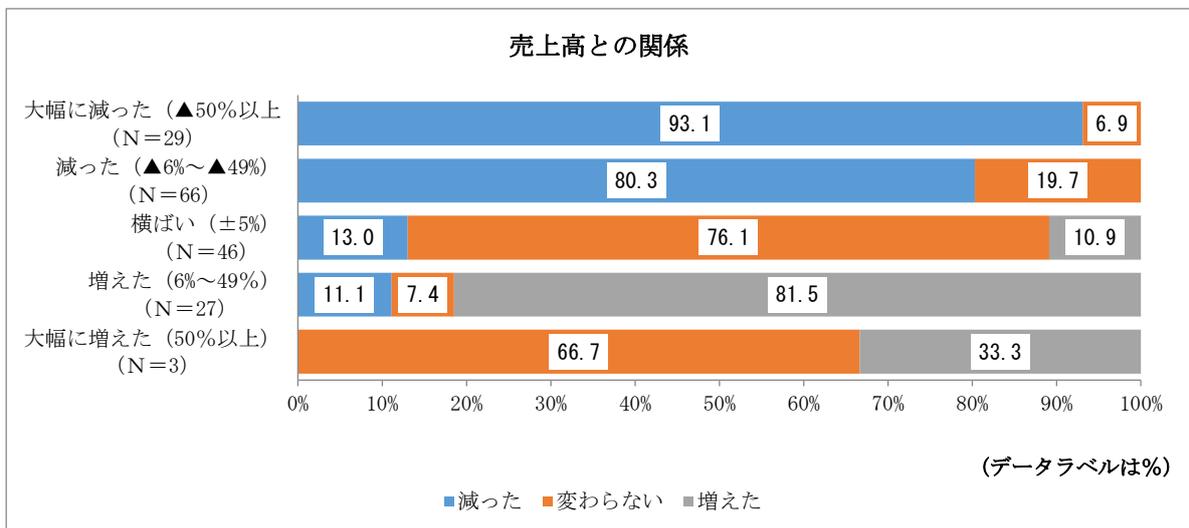
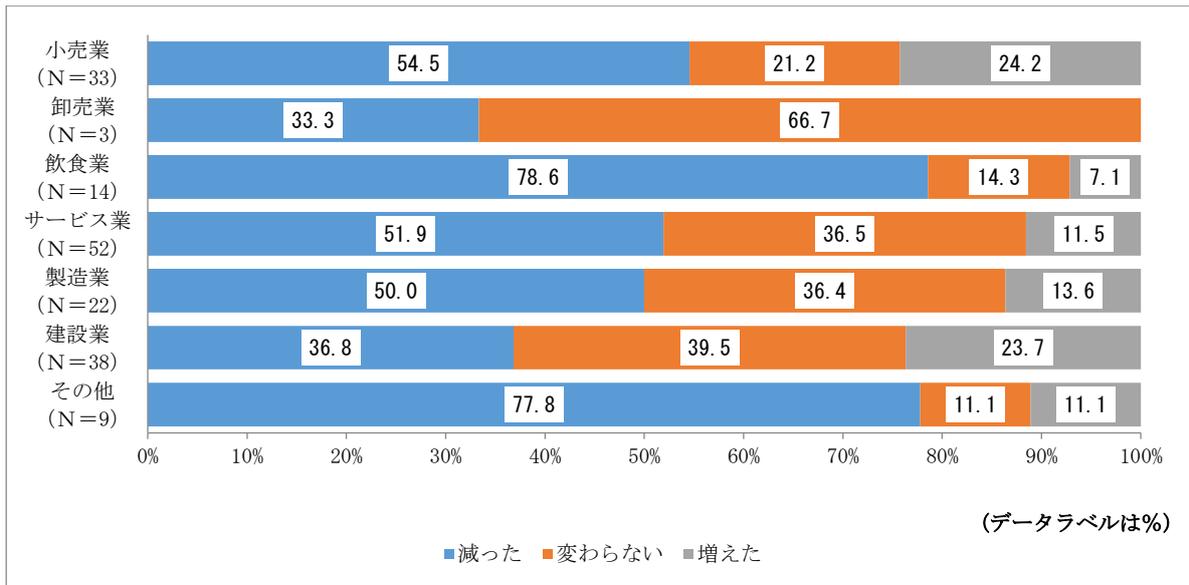
(ウ) 客 (受注) 数

客 (受注) 数は「減った」と回答した事業者が 51%と多く、反対に「増えた」と回答した事業者は 16%しかなく、厳しい経営状況にある事業者が多い。

- ・業種別では「飲食業」で「減った」と回答した割合が 79%と高くなっている。
- ・売上高との関係では売上高が「(大幅に) 減った」事業者では、ほとんどが、客 (受注数) が「減った」と回答している。
- ・採算 (経常利益) との関係では採算 (経常利益) が「減った」事業者のほとんどが、客 (受注数) が「減った」と回答している。

	全体	減った	変わらない	増えた	不明
件数	174	89	54	28	3
%	100.0	51.1	31.0	16.1	1.7



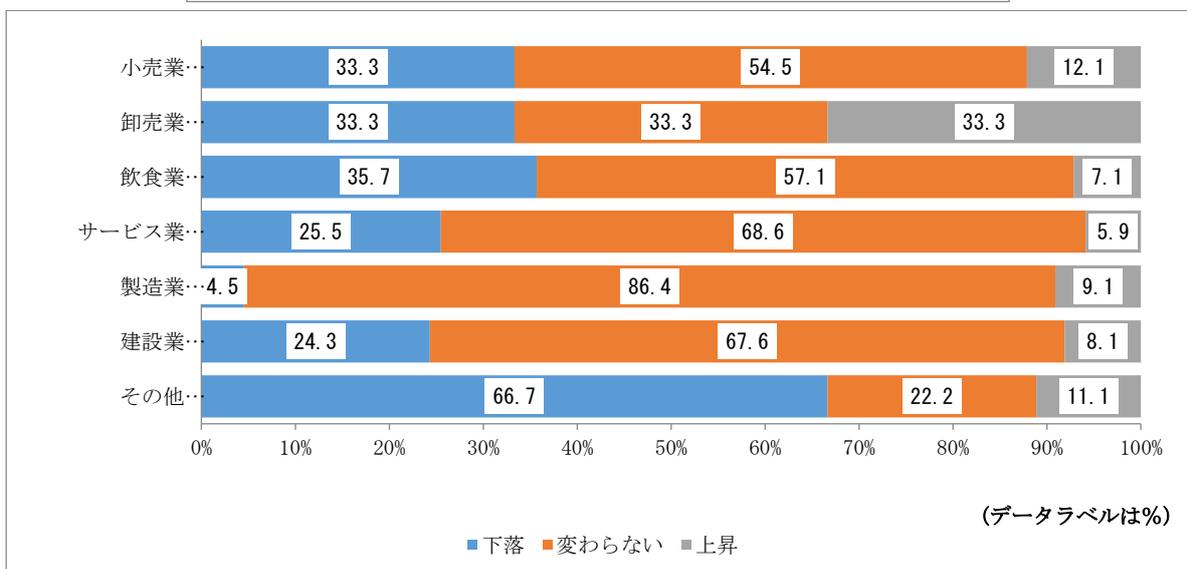
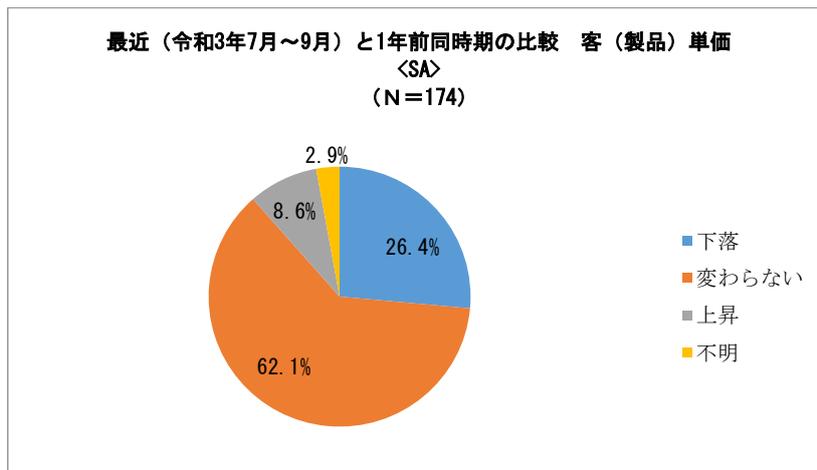


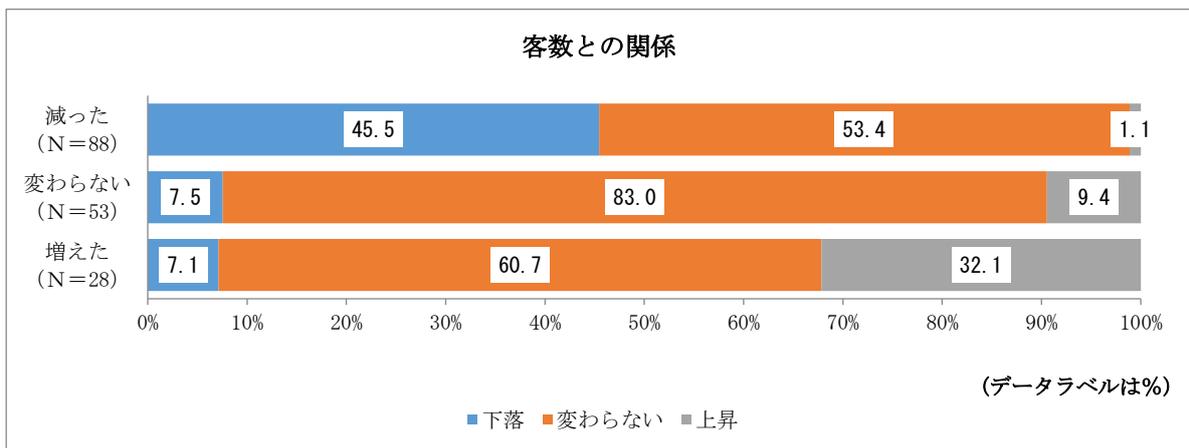
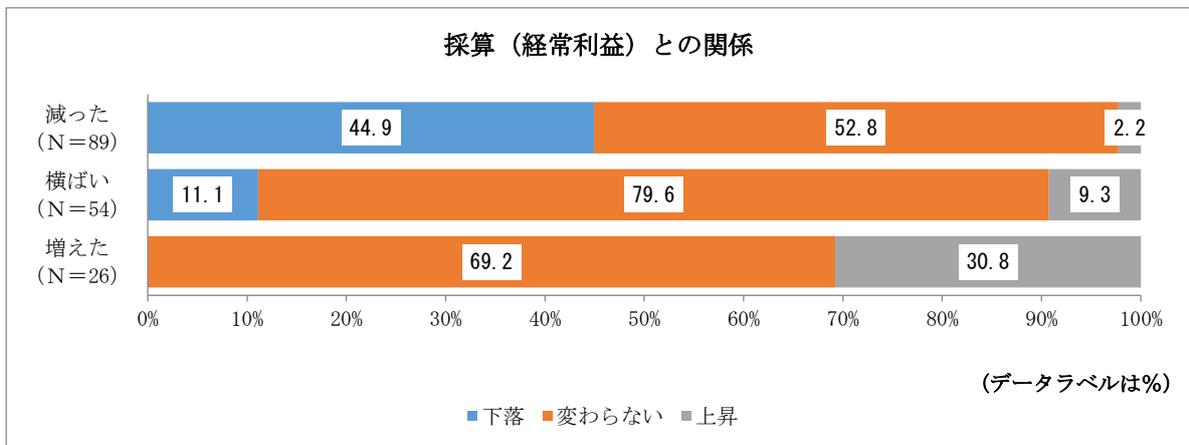
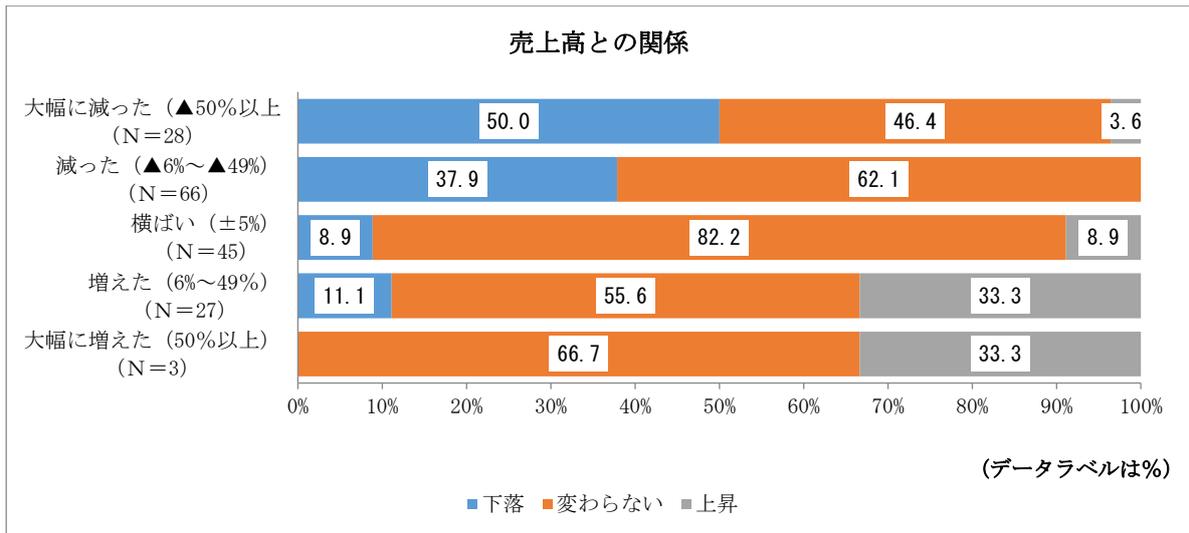
(エ) 客（製品）単価

客（製品）単価は 62%が「変わらない」と回答しているが、「下落」と回答した事業者も 26%ある。

- ・業種別では「製造業」以外は「下落」と回答した割合が相対的に高くなっている。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に) 減った」と回答した事業者は客（製品）単価が「下落」と回答した割合が高くなっており、「(大幅に) 増えた」と回答した事業者は「上昇」と回答した割合が高い。
- ・採算（経常利益）との関係では、採算（経常利益）が「減った」と回答した事業者は客（製品）単価が「下落」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「上昇した」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（受注）数との関係では、客（受注）数が「減った」と回答した事業者では客（製品）単価が「下落」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者では「上昇」と回答した割合が高くなっている。

	全体	下落	変わらない	上昇	不明
件数	174	46	108	15	5
%	100.0	26.4	62.1	8.6	2.9



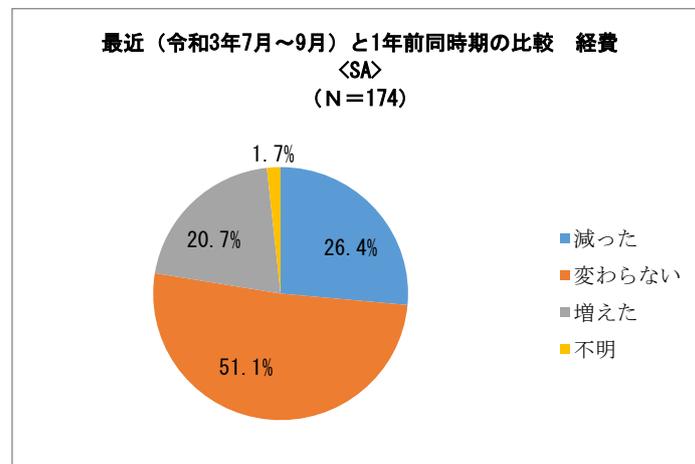


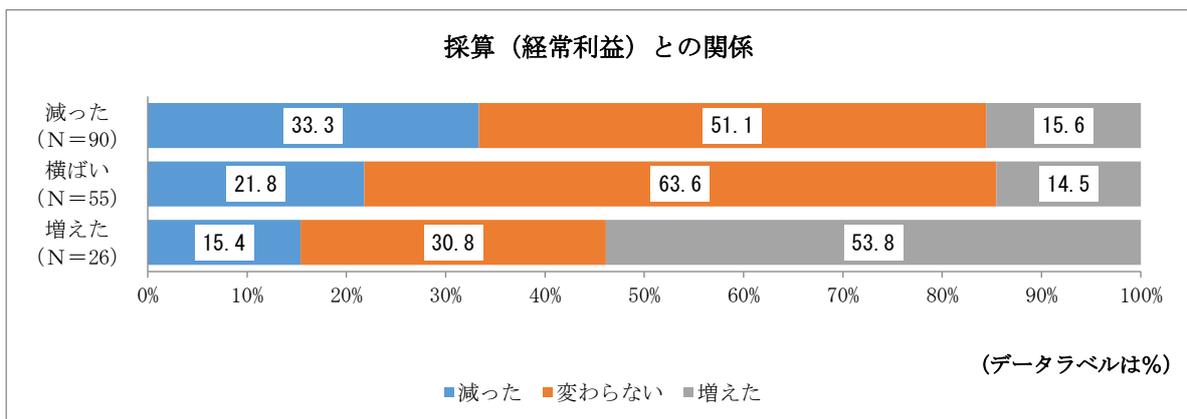
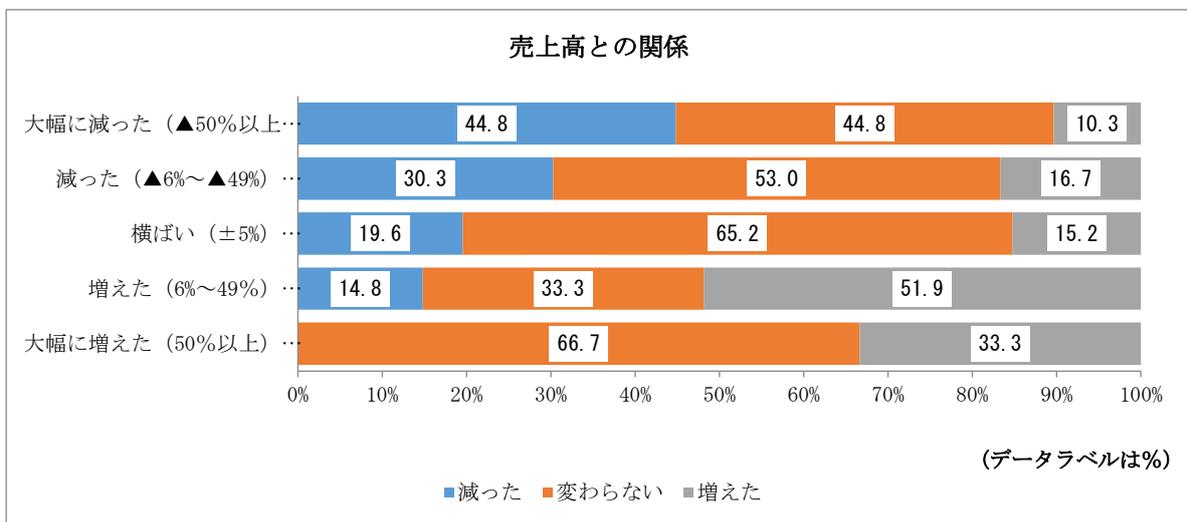
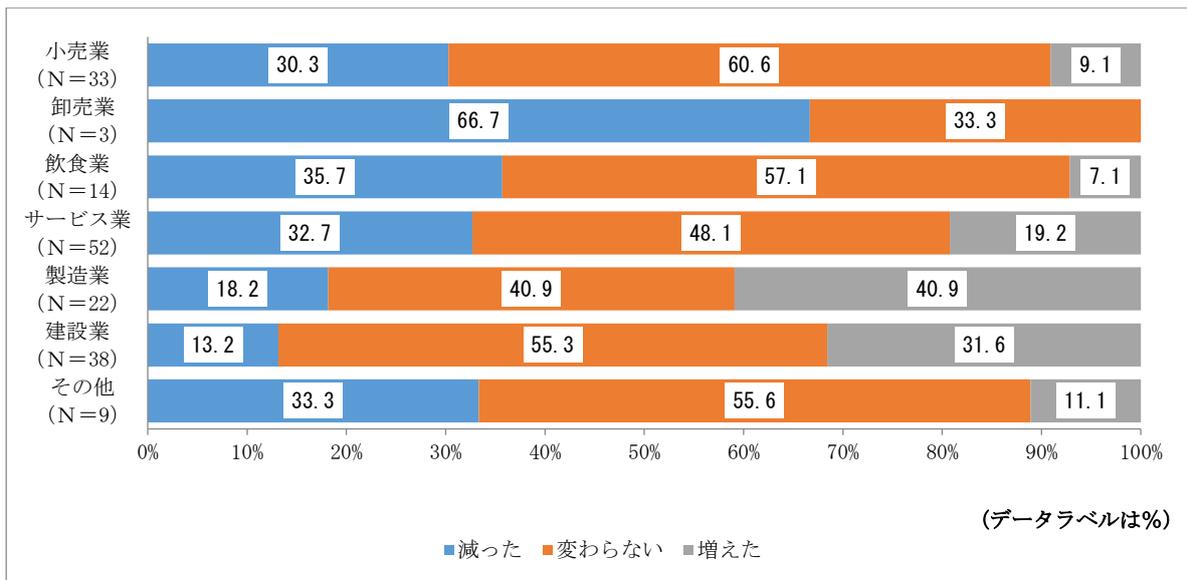
(オ) 経 費

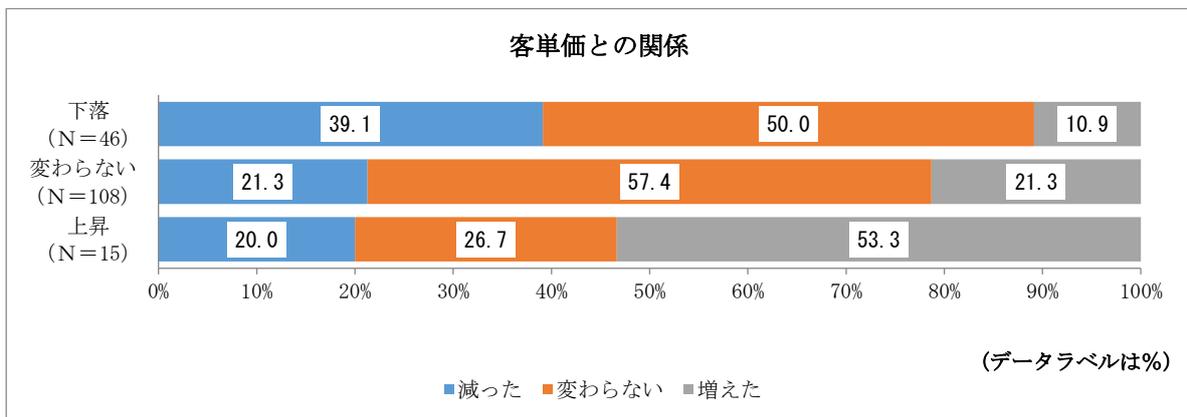
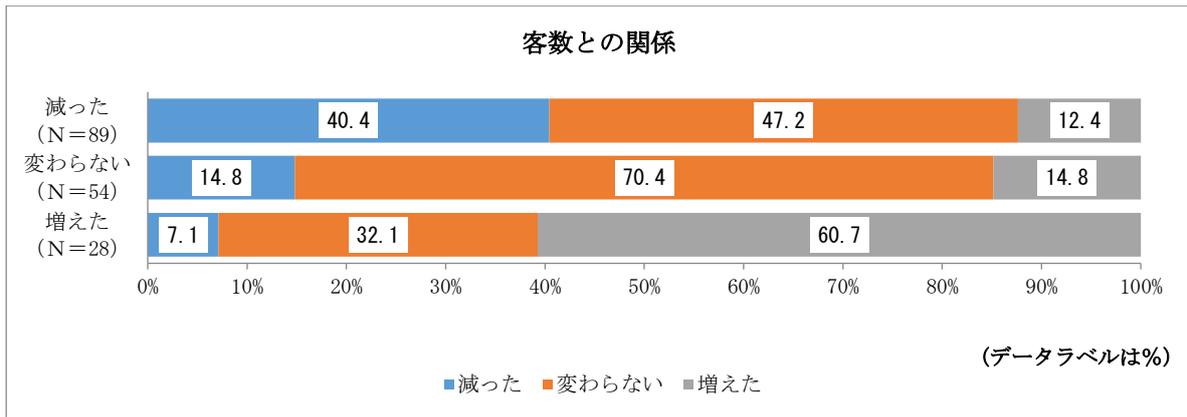
経費は「変わらない」と回答した事業者が51%で多くなっている。

- ・ **業種別**では、「減った」と回答した事業者は「卸売業」が多く、「増えた」と回答した事業者は「製造業」「建設業」が多い。
- ・ **売上高との関係**では「(大幅に) 減った」と回答した事業者で経費が「減った」と回答した割合が高く、「(大幅に) 増えた」と回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。
- ・ **採算（経常利益）との関係**では採算（経常利益）が「減った」と回答した事業者は経費が「減った」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。
- ・ **客（受注）数との関係**では客（受注）数が「減った」と回答した事業者で経費が「減った」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者で「増えた」割合が高くなっている。
- ・ **客（製品）単価との関係**では、客（製品）単価が「下落」したと回答した事業者で経費が「減った」と回答した割合が高く、「上昇」したと回答した事業者で「増えた」と回答した割合が高くなっている。

	全 体	減った	変わらない	増えた	不明
件 数	174	46	89	36	3
%	100.0	26.4	51.1	20.7	1.7





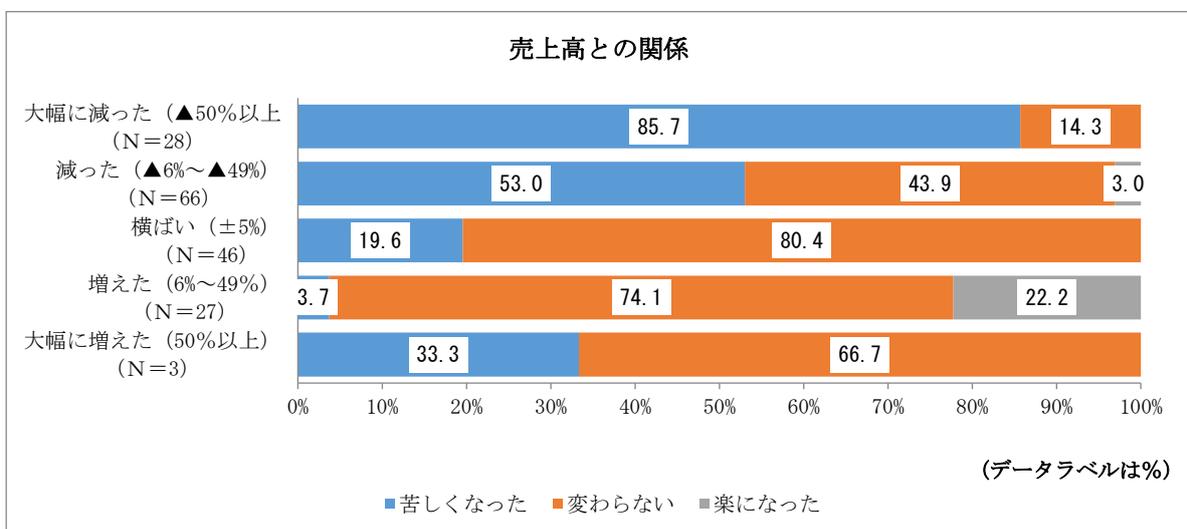
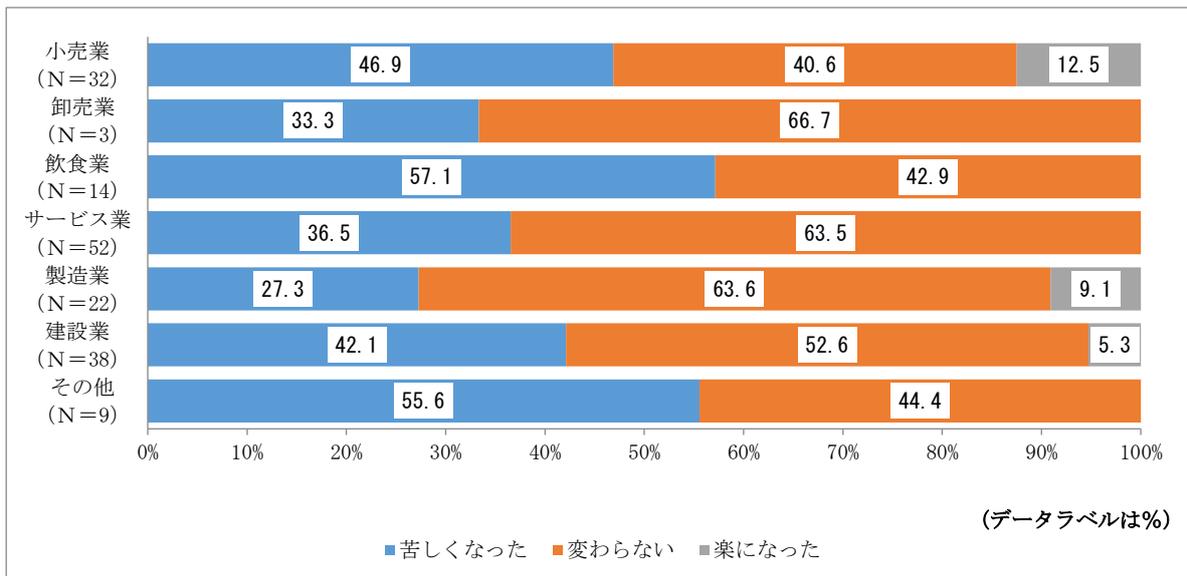
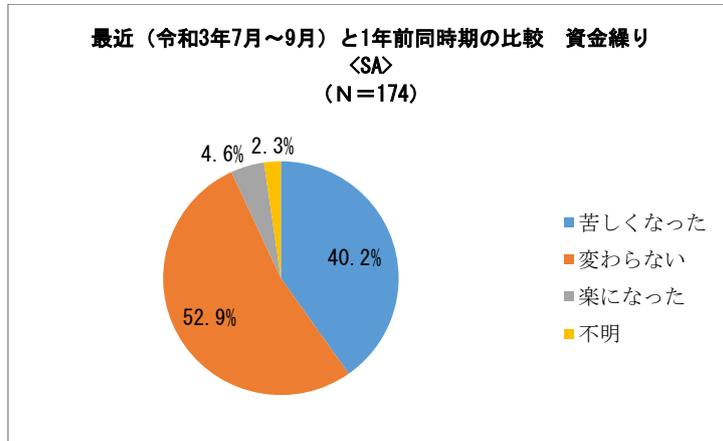


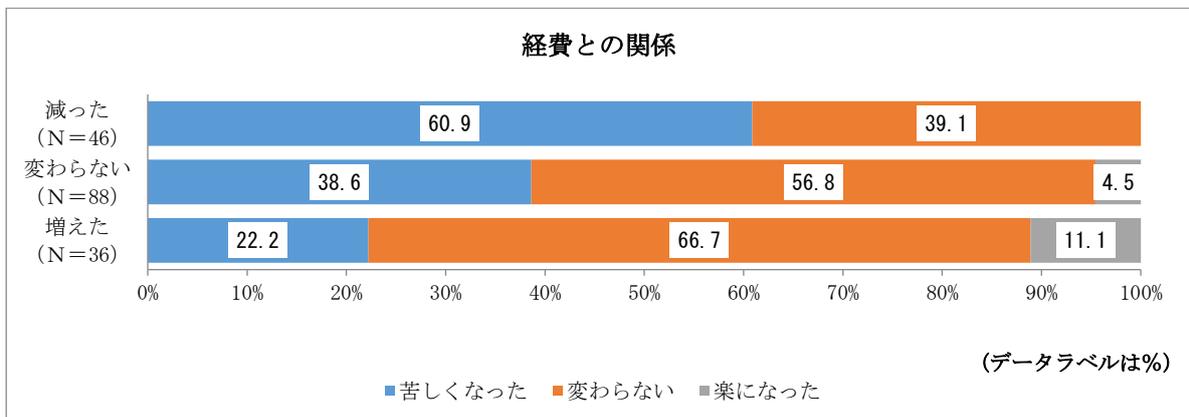
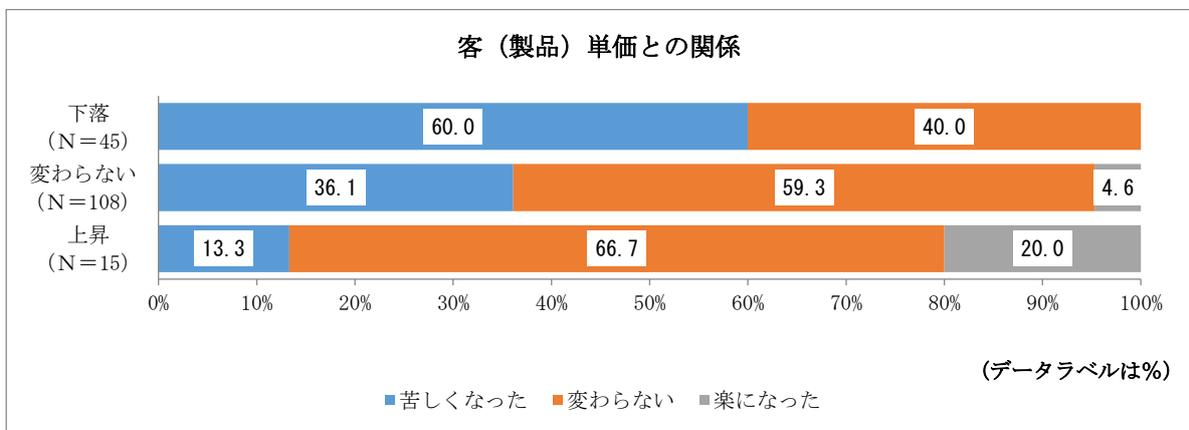
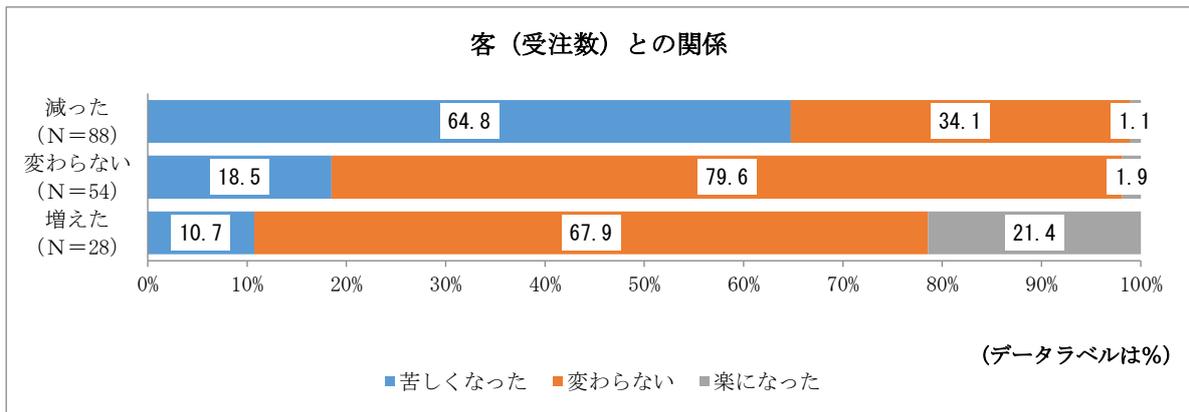
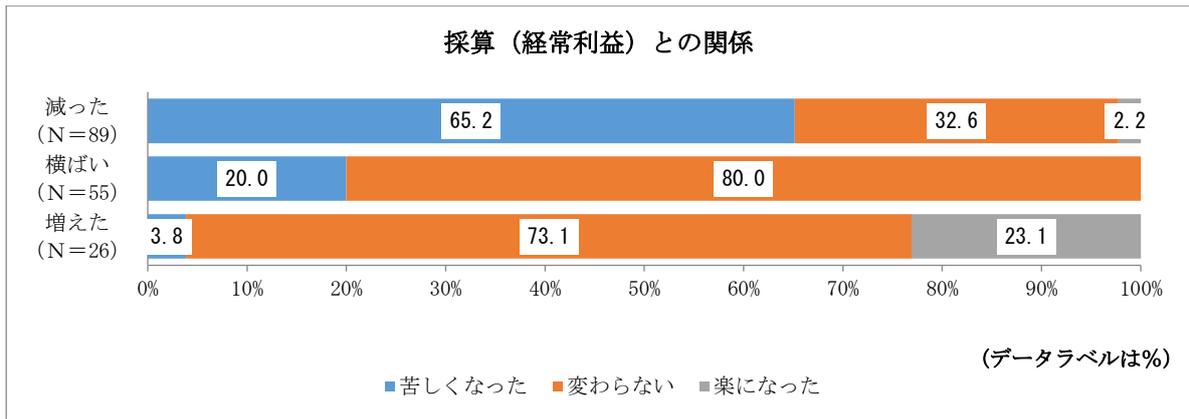
(カ) 資金繰り

資金繰りは「変わらない」と回答した事業者が53%を占めるが「苦しくなった」と回答した事業者も40%あり、資金繰りが厳しい状況にある事業者が多い。

- ・業種別では「飲食業」「小売業」「建設業」で「苦しくなった」と回答した事業者が多くなっている。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に)減った」と回答した事業者では資金繰りが「苦しくなった」と回答した事業者の割合が高くなっている。
- ・採算(経常利益)との関係では、採算(経常利益)が「減った」と回答した事業者は資金繰りが「苦しくなった」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「楽になった」と回答した割合が高くなっている。
- ・客(受注)数との関係では、客(受注)数が「減った」と回答した事業者では資金繰りが「苦しくなった」割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「楽になった」と回答した割合が高い。
- ・客(製品)単価との関係では、客(製品)単価が「下落」と回答した事業者で資金繰りが「苦しくなった」割合が高く、「上昇」と回答した事業者は「楽になった」と回答している割合が高くなっている。
- ・経費との関係では、経費が「減った」と回答した事業者は資金繰りが「苦しくなった」割合が高くなっている。

	全体	苦しくなった	変わらない	楽になった	不明
件数	174	70	92	8	4
%	100.0	40.2	52.9	4.6	2.3



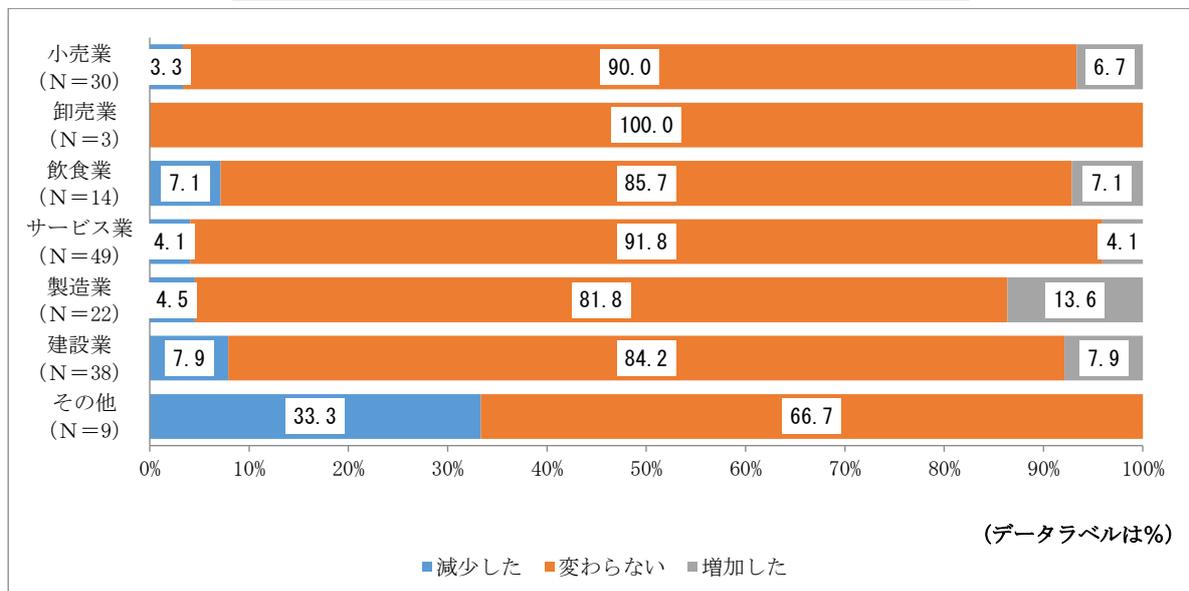
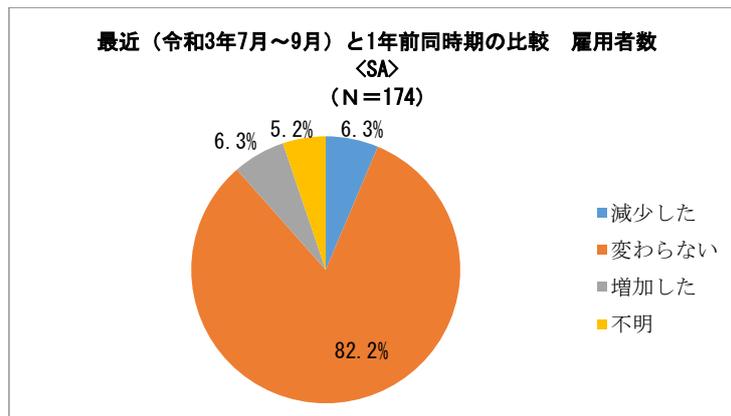


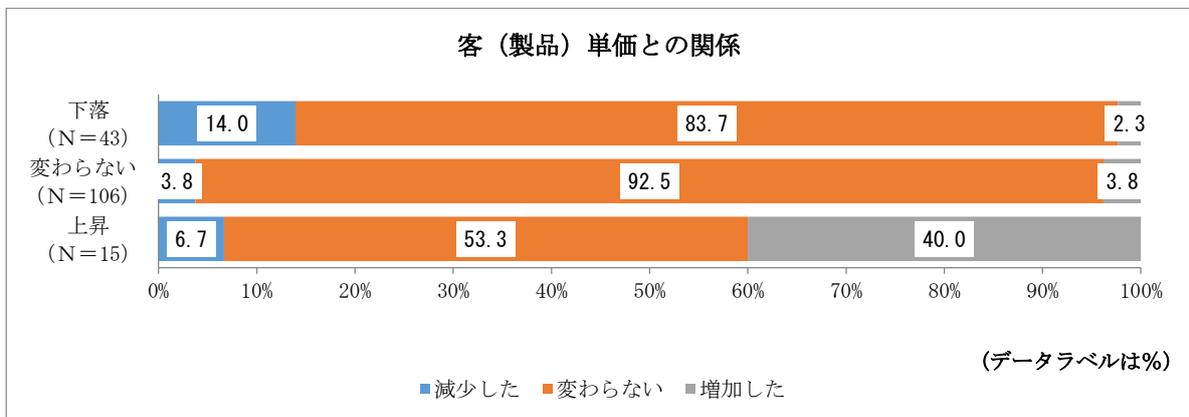
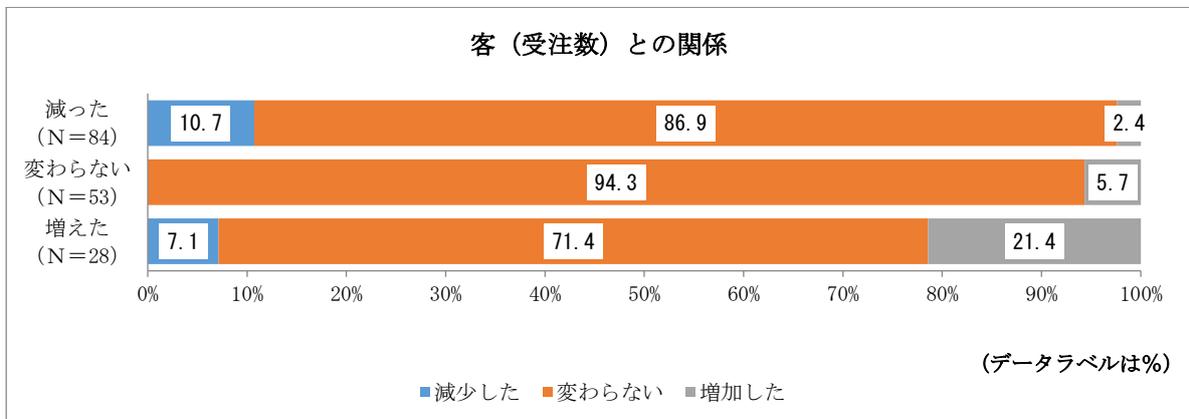
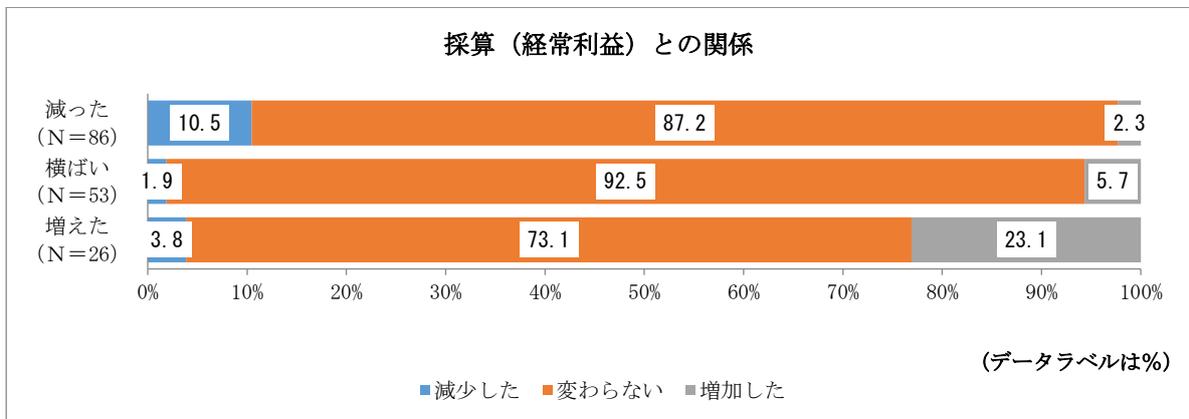
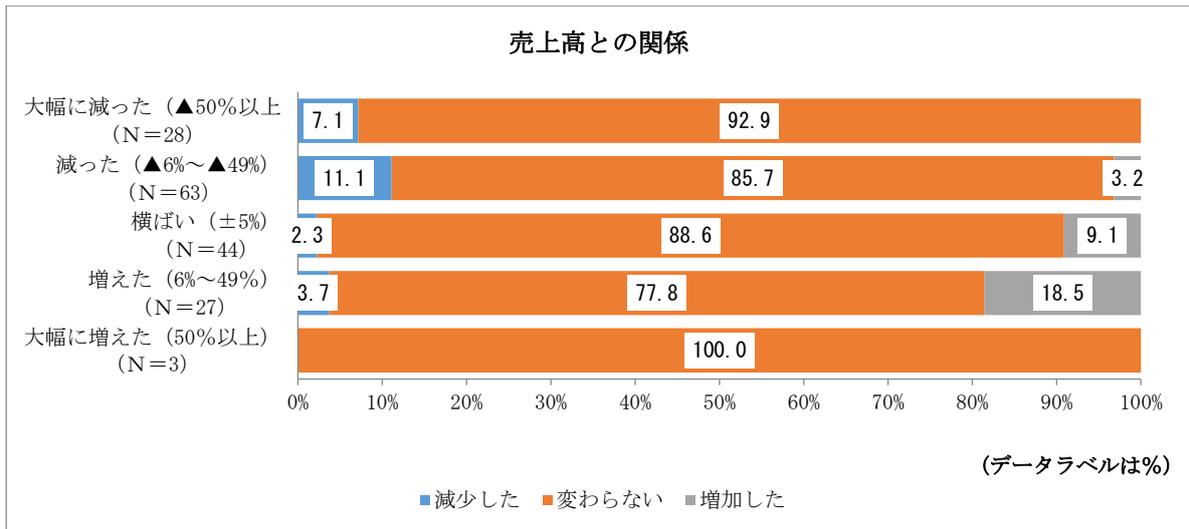
(キ) 雇用者数

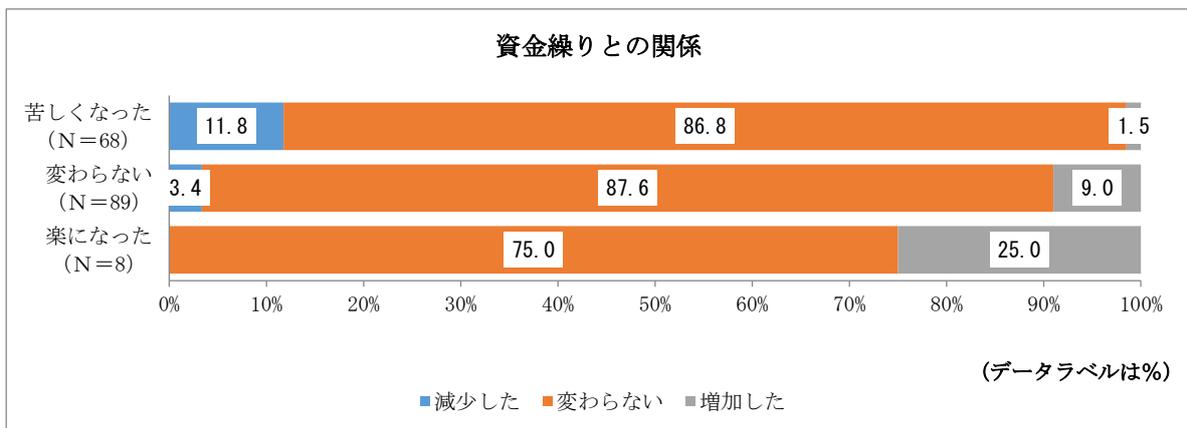
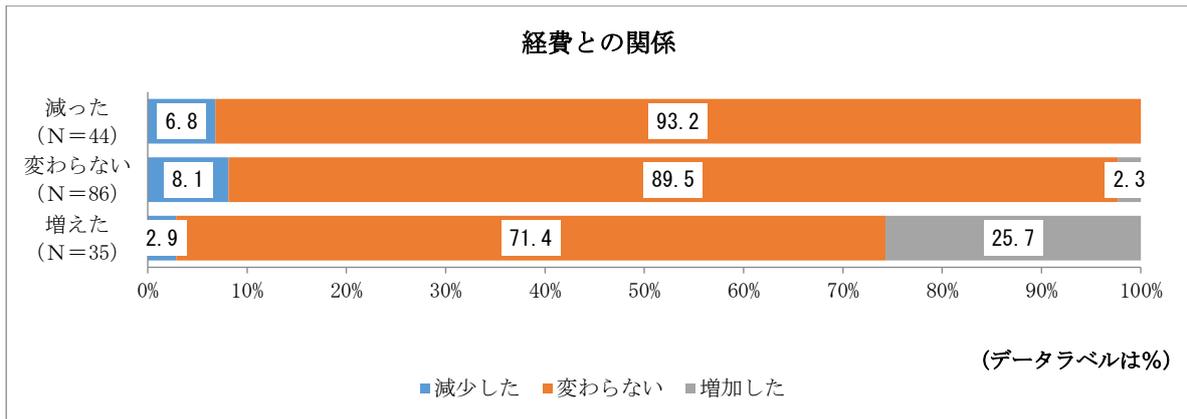
雇用者数は「変わらない」と回答した事業者がほとんどである。

- ・業種別では「製造業」で「増加した」割合が相対的に高くなっている。
- ・採算（経常利益）との関係では採算（経常利益）が「増えた」と回答した事業者で「増加した」割合が高くなっている。
- ・客（受注数）との関係では、客（受注数）が「増えた」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（製品）単価との関係では客（製品）単価が「上昇」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」割合が高くなっている。
- ・経費との関係では経費が「増えた」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」と回答した割合が高くなっている。
- ・資金繰りとの関係では、資金繰りが「楽になった」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」と回答した割合が高くなっている。

	全体	減少した	変わらない	増加した	不明
件数	174	11	143	11	9
%	100.0	6.3	82.2	6.3	5.2







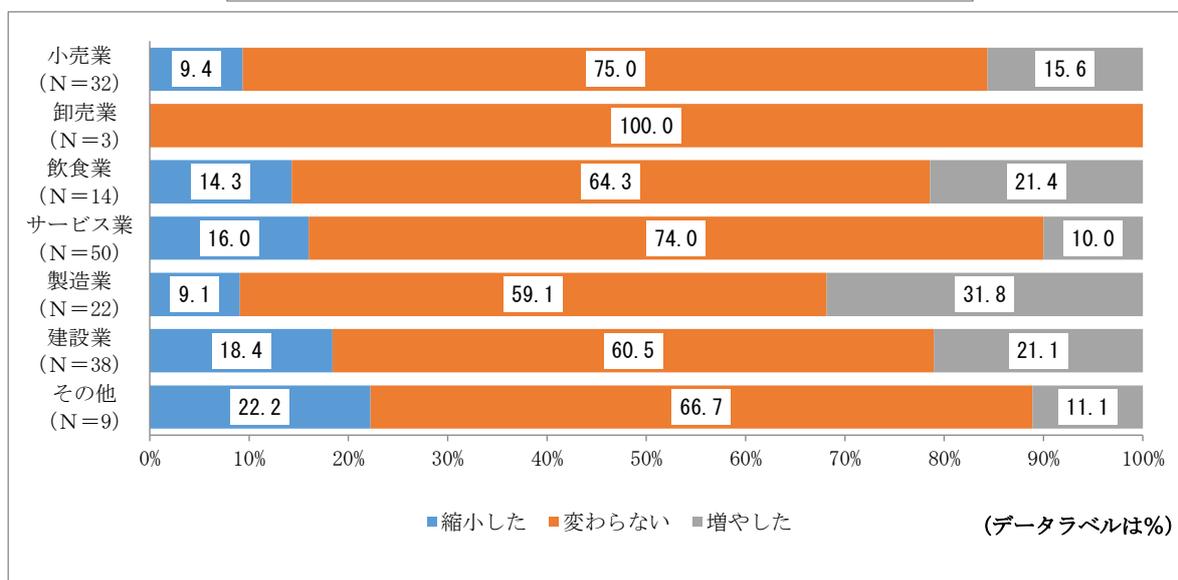
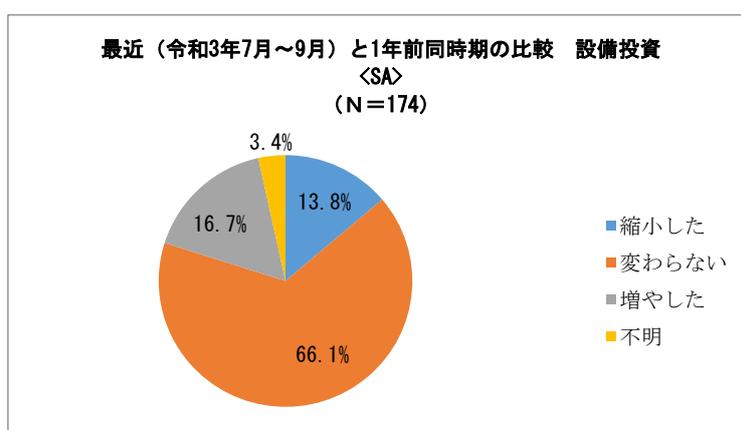
(ク) 設備投資

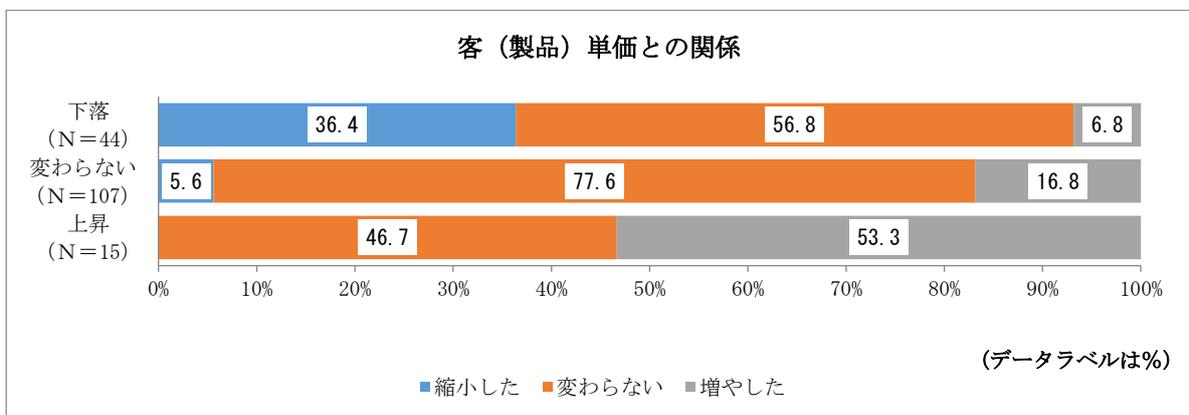
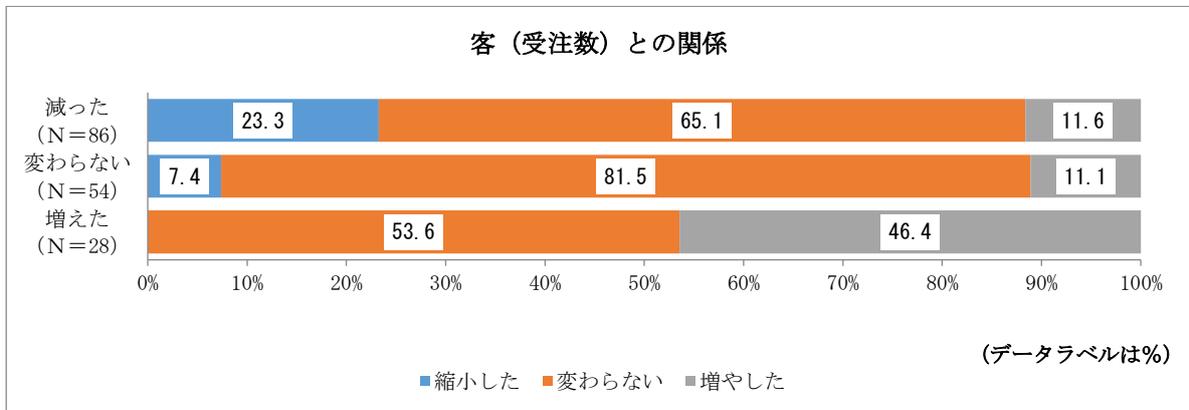
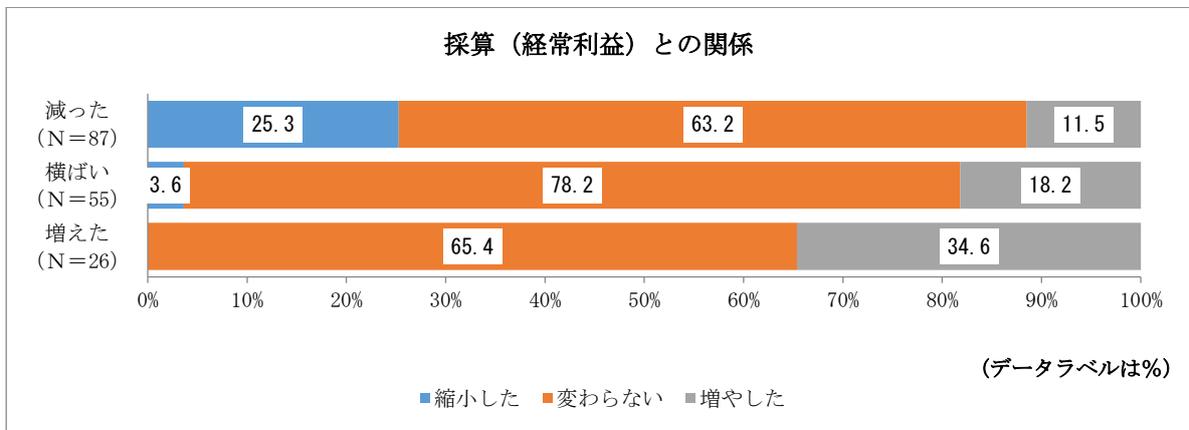
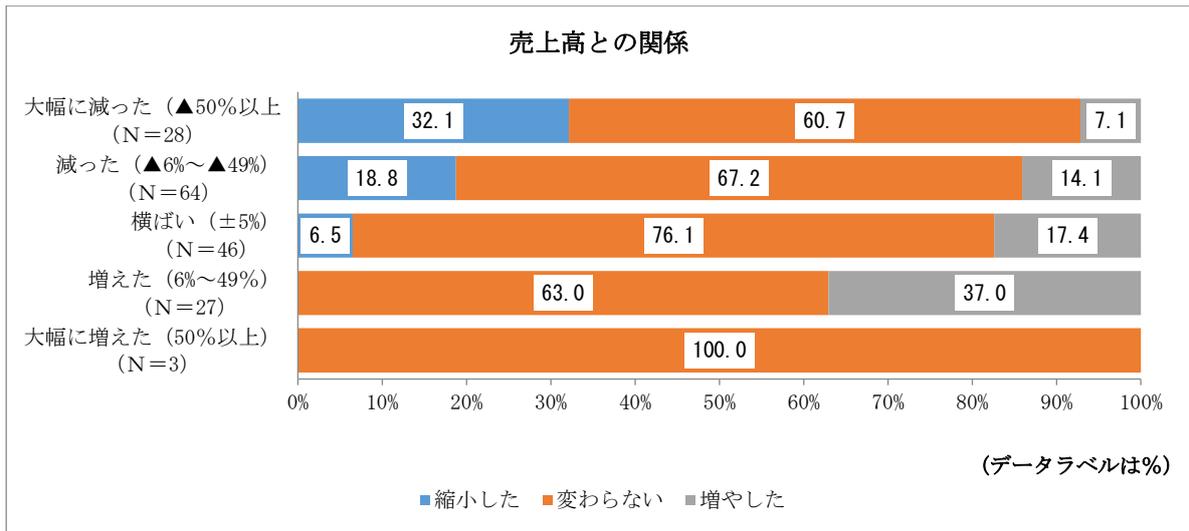
設備投資は「変わらない」とした事業者が 66%と多くを占めているが「増やした」とした事業者の方が「縮小した」とする事業者より若干多くなっている。

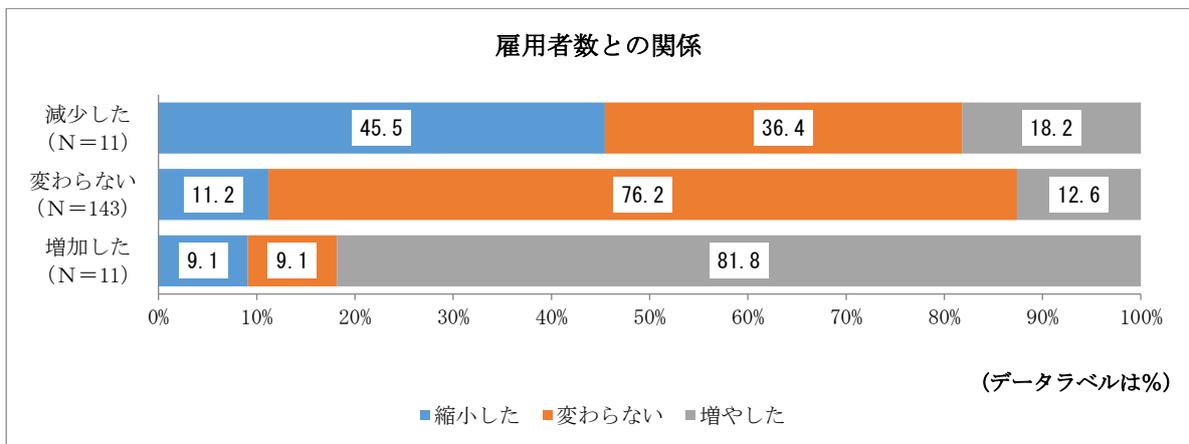
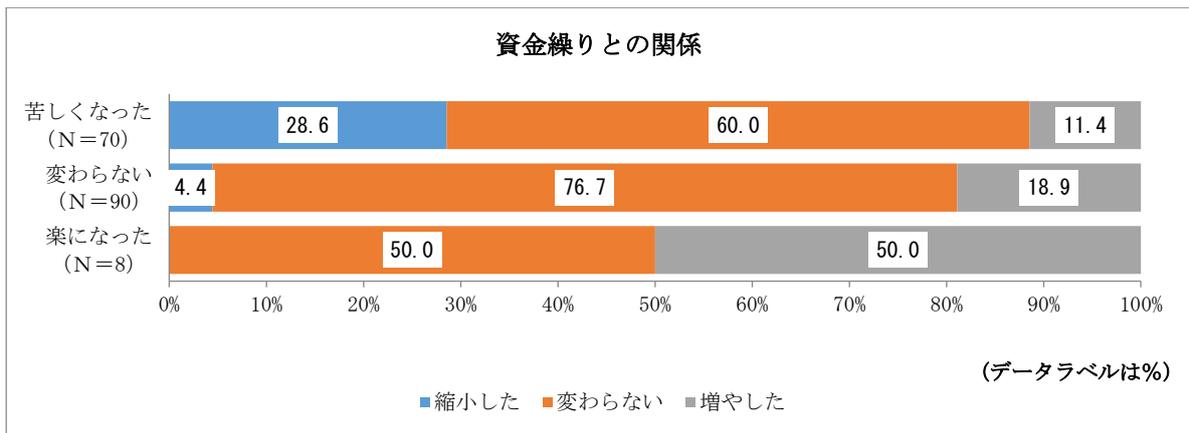
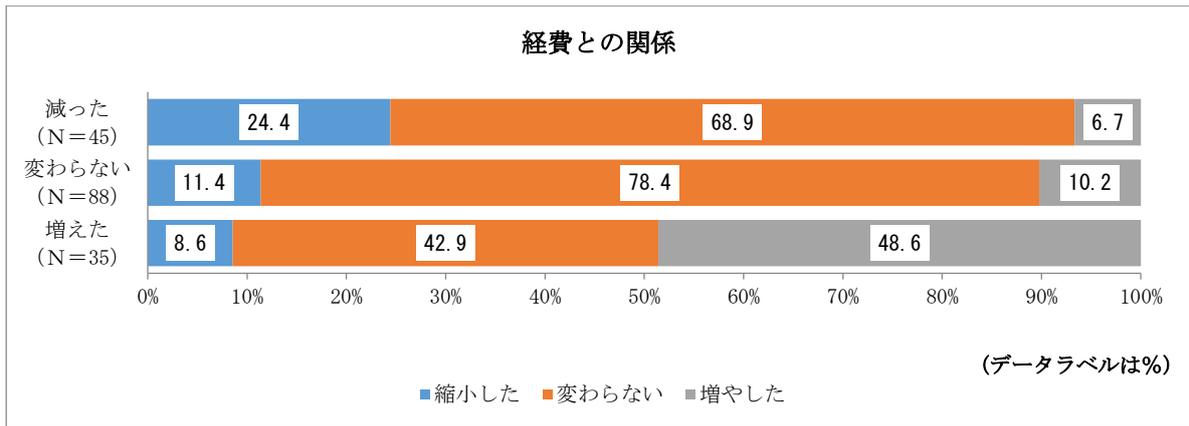
- ・業種別では「製造業」「飲食業」「建設業」が相対的に「増やした」割合が高くなっている。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に) 減った」と回答した事業者は設備投資を「縮小した」と回答した割合が高くなっている。
- ・採算（経常利益）との関係では、採算（経常利益）が「減った」と回答した事業者は設備投資を「縮小した」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（受注）数との関係では、客（受注）数が「減った」と回答した事業者は設備投資を「縮小した」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（製品）単価との関係では、客（製品）単価が「下落」したと回答した事業者は、設備投資を「縮小した」と回答した割合が高く、「上昇」したと回答した事業者は「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・経費との関係では経費が「減った」と回答した事業者は、設備投資を「縮小した」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者では設備投資を「増やした」と回答した割合が高くなっている。

- ・ **資金繰りとの関係**では、資金繰りが「苦しくなった」と回答した事業者は設備投資を「縮小した」と回答した割合が高く、「楽になった」事業者では「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・ **雇用者数との関係**では、雇用者数が「減少した」と回答した事業者は設備投資を「縮小した」と回答した割合が高く、「増加した」事業者は「増やした」と回答した割合が高くなっている。

	全 体	縮小した	変わらない	増やした	不明
件 数	174	24	115	29	6
%	100.0	13.8	66.1	16.7	3.4





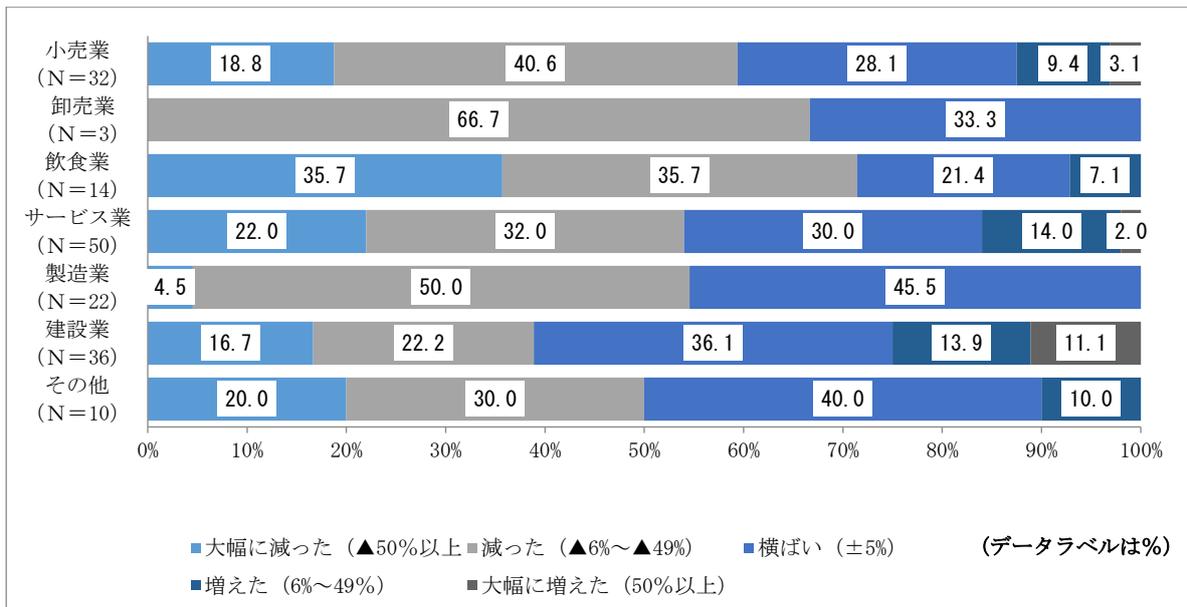
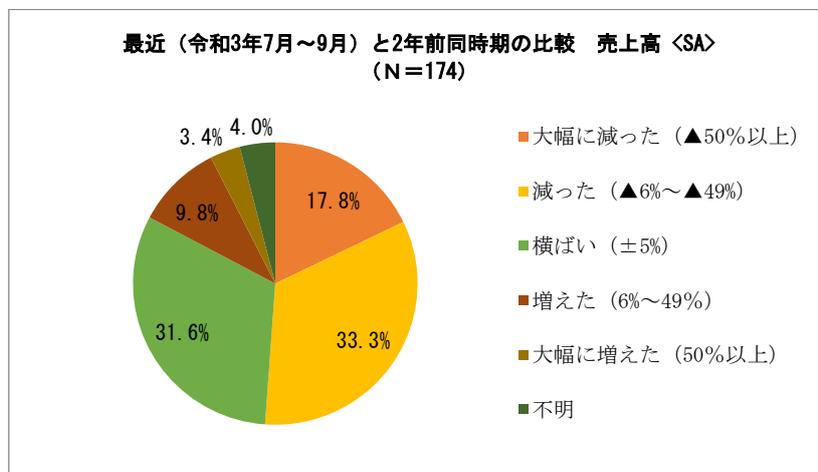


② 2年前（コロナ前）との比較

(ア) 売上高

売上高は「減った」と回答した事業者が33%と多く、「大幅に減った」の18%と合わせると51%となり、非常に厳しい経営状況の事業者が多い。業種別では「飲食業」で売上高が「大幅に減った」と回答した割合が高くなっている。

	全 体	大幅に減った (▲50%以上)	減った (▲6%~▲49%)	横ばい (±5%)	増えた (6%~49%)	大幅に増えた (50%以上)	不明
件数	174	31	58	55	17	6	7
%	100.0	17.8	33.3	31.6	9.8	3.4	4.0

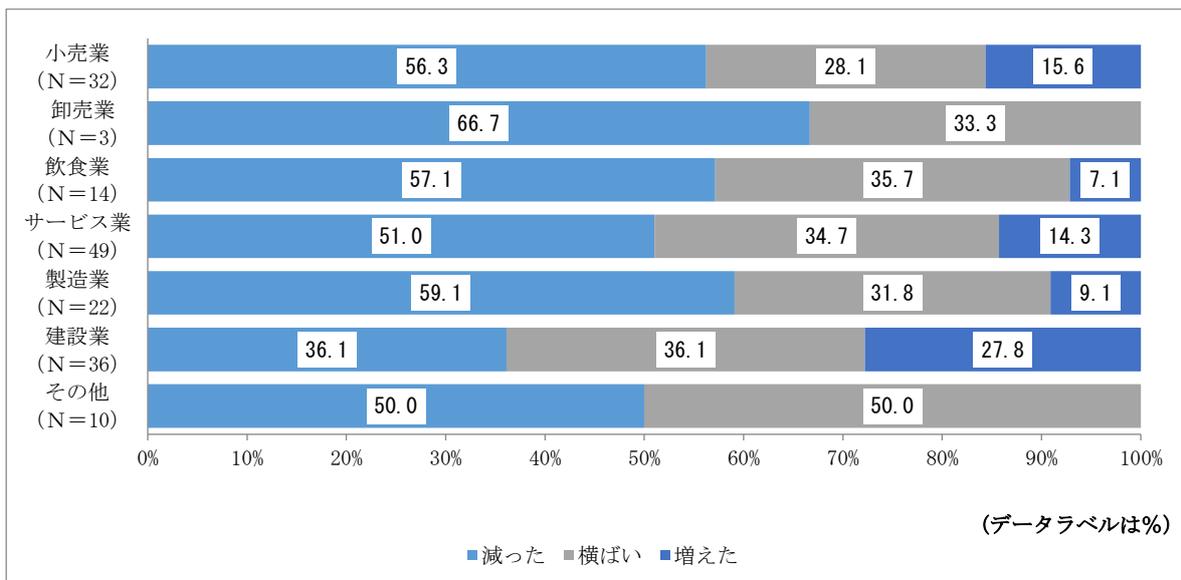
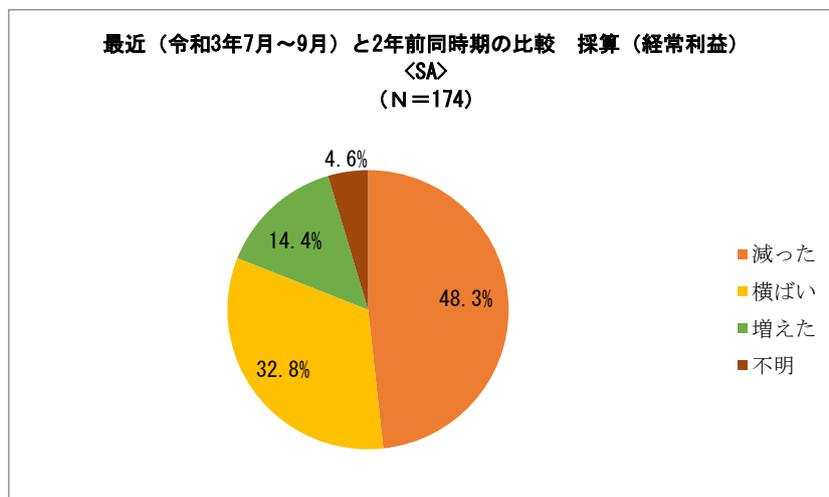


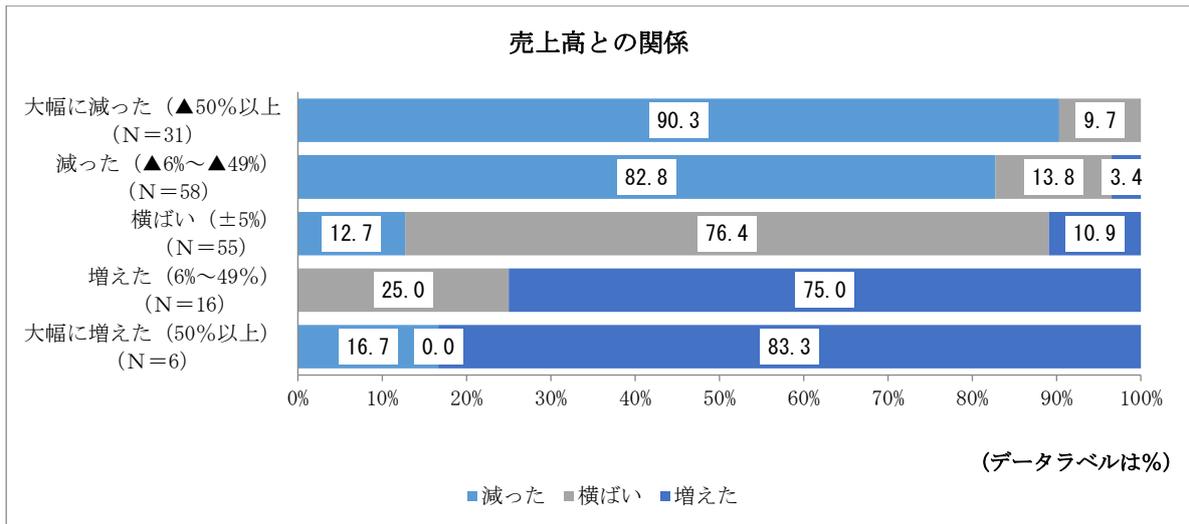
(イ) 採算（経常利益）

採算（経常利益）は「減った」と回答した事業者が 48%と高く、「増えた」と回答した事業者は 14%に留まっており、非常に厳しい経営状況の事業者が多い。

- ・業種別では「建設業」以外は 50%以上が「減った」と回答している。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に) 減った」と回答した事業者は、採算（経常利益）が「減った」と回答している割合が高くなっている。

	全体	減った	横ばい	増えた	不明
件数	174	84	57	25	8
%	100.0	48.3	32.8	14.4	4.6



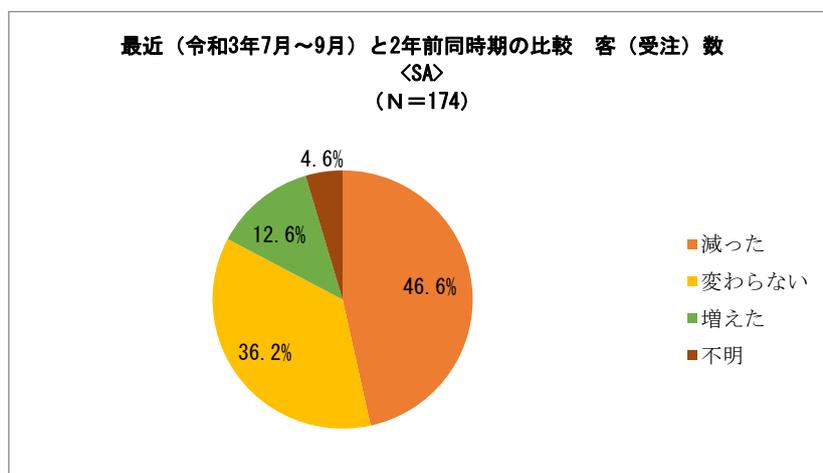


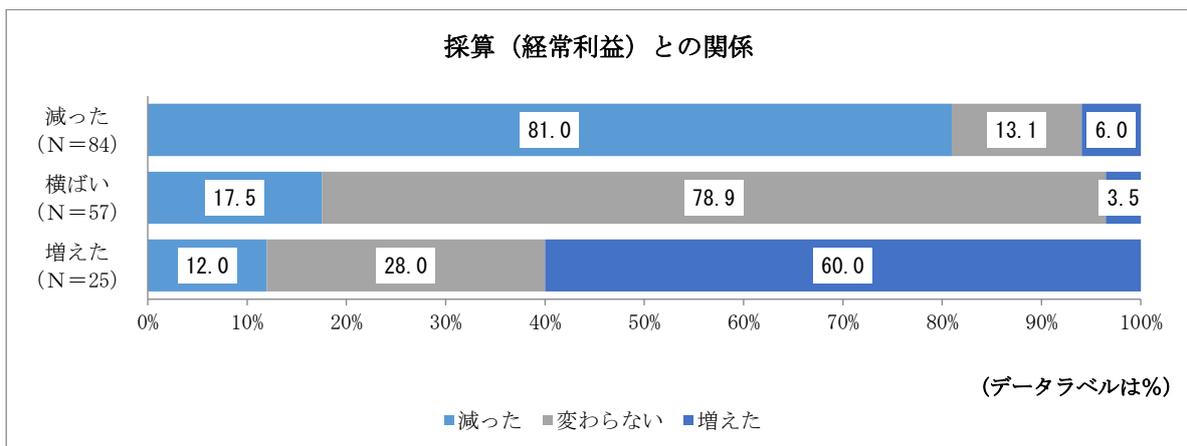
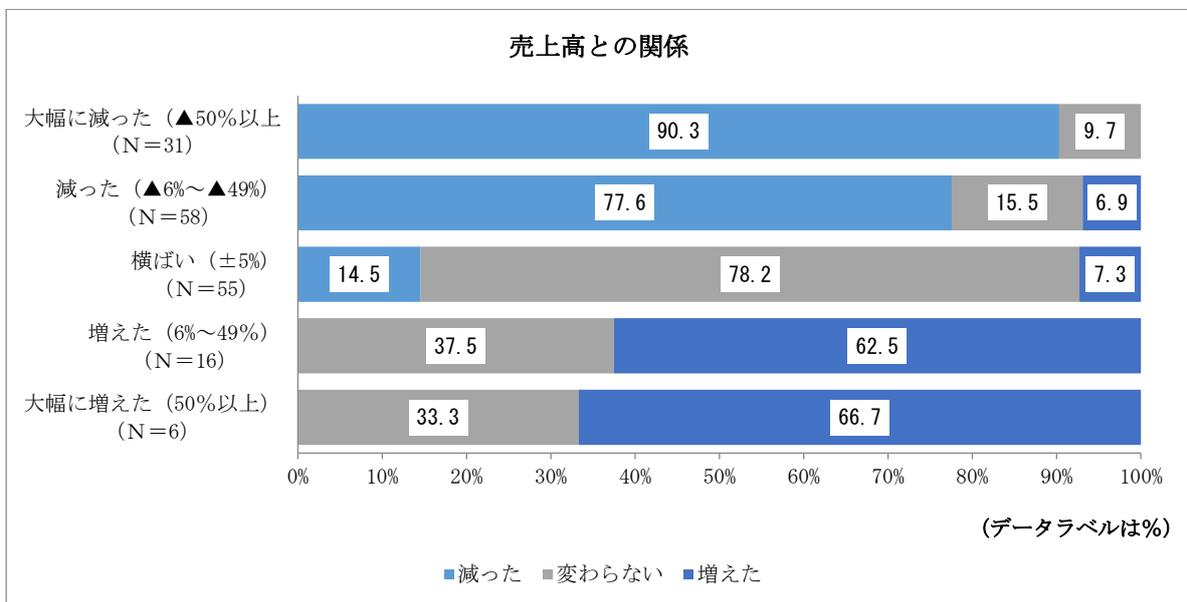
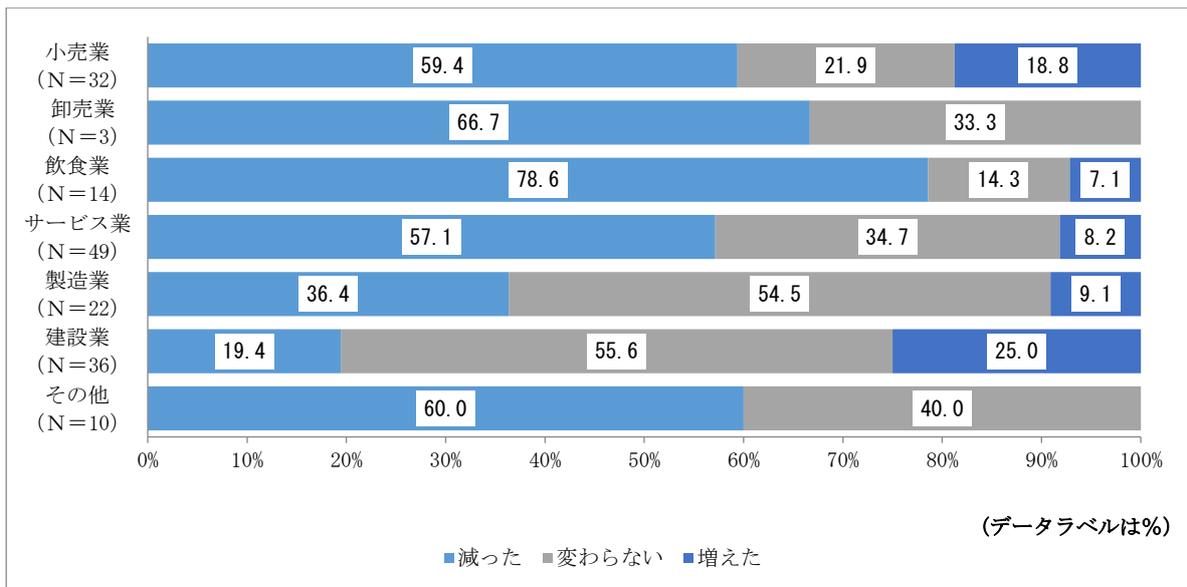
(ウ) 客 (受注) 数

客 (受注) 数は「減った」と回答した事業者が 47%、「増えた」と回答した事業者は 13%しかなく、厳しい経営状況にある事業者が多い。

- ・業種別では「飲食業」で「減った」と回答した割合が 79%と高くなっている。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に) 減った」と回答した事業者では、客 (受注数) が「減った」割合が非常に高くなっており、「(大幅に) 増えた」と回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている
- ・採算 (経常利益) との関係では採算 (経常利益) が「減った」と回答した事業者では客 (受注数) が「減った」と回答した割合が非常に高くなっており、「増えた」と回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。

	全体	減った	変わらない	増えた	不明
件数	174	81	63	22	8
%	100.0	46.6	36.2	12.6	4.6



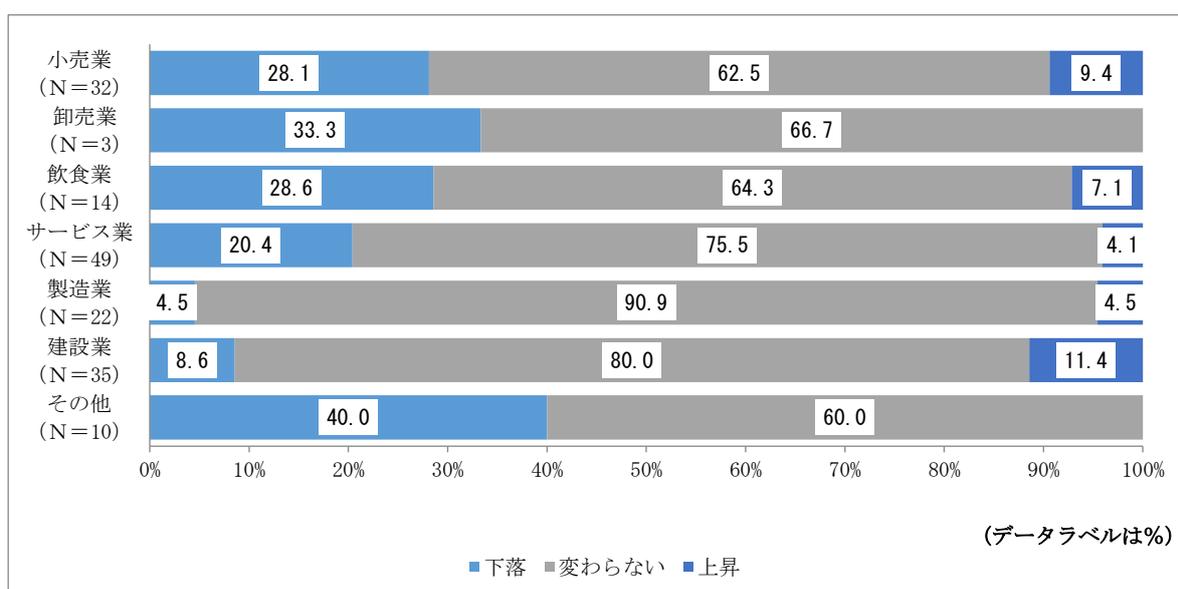
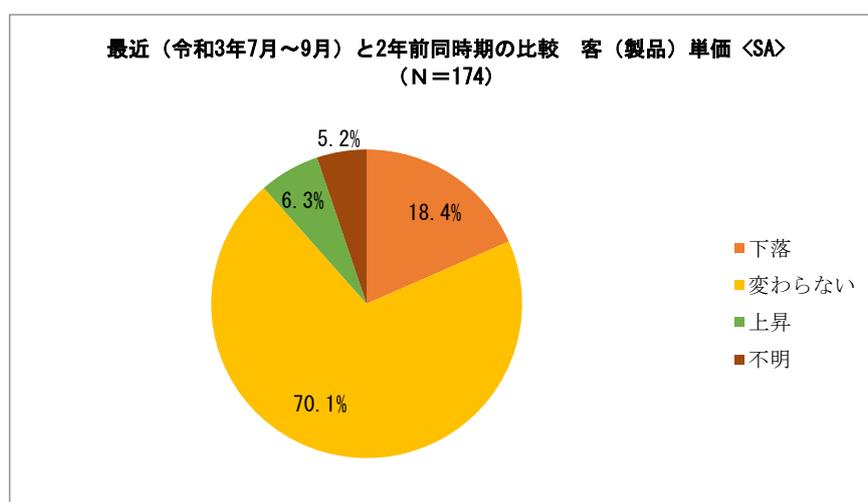


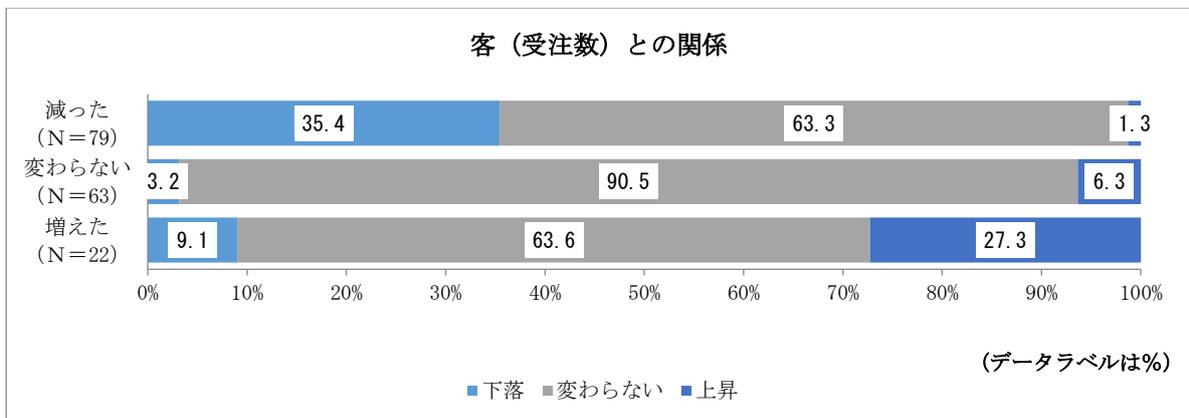
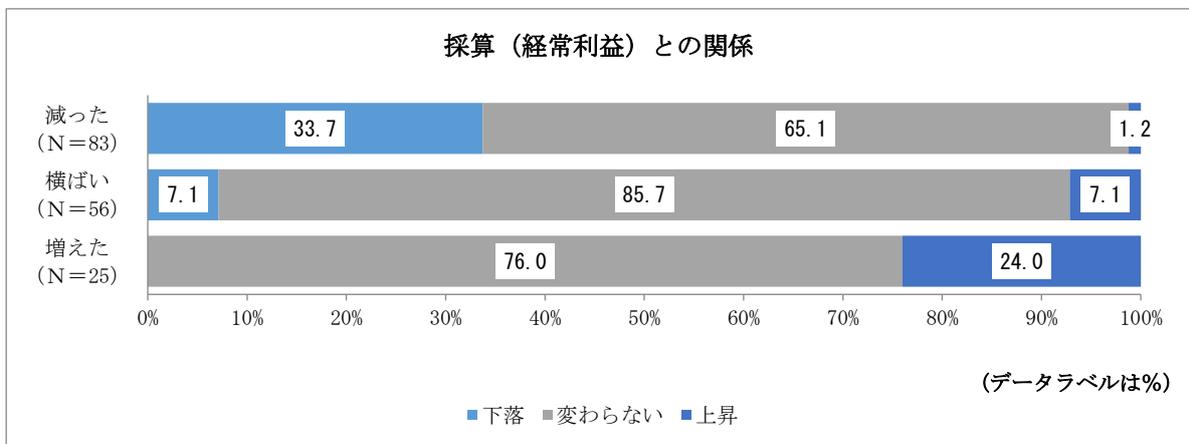
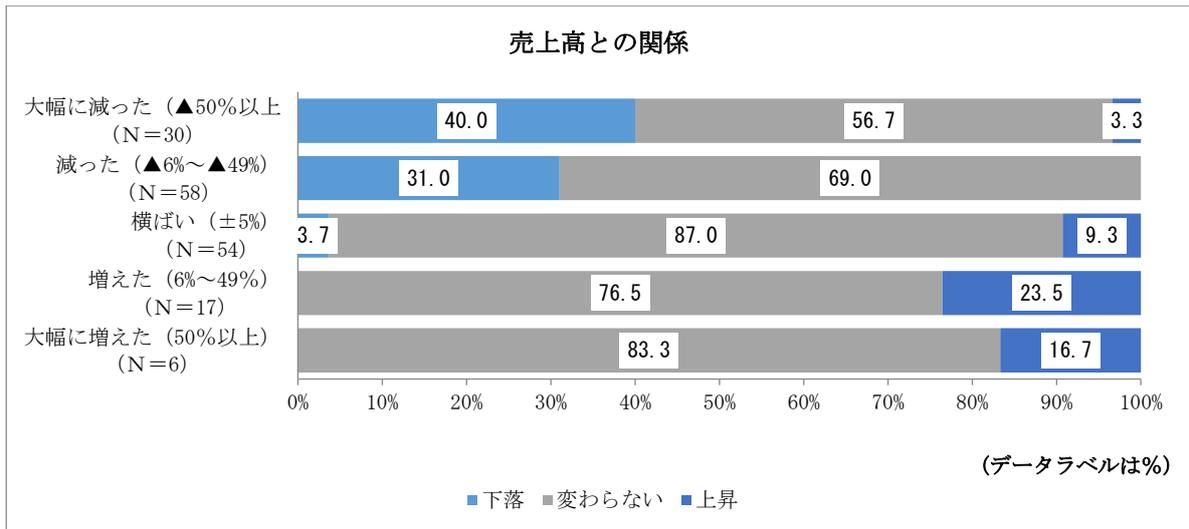
(エ) 客（製品）単価

客（製品）単価は 70%が「変わらない」と回答しており、「下落」と回答した事業者が 18%となっている。

- ・業種別では「卸売業」「飲食業」で「下落」と回答した割合が相対的に高くなっている。
- ・売上高との関係では、「(大幅に) 減った」と回答した事業者が「下落」したと回答した割合が高くなっている。
- ・採算（経常利益）との関係では、採算（経常利益）が「減った」と回答した事業者は客（製品）単価が「下落」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「上昇した」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（受注）数との関係では客（受注）数が「減った」と回答した事業者は客（製品）単価が「下落」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者では客（製品）単価が「上昇」したと回答した割合が高くなっている。

	全 体	下落	変わらない	上昇	不明
件 数	174	32	122	11	9
%	100.0	18.4	70.1	6.3	5.2





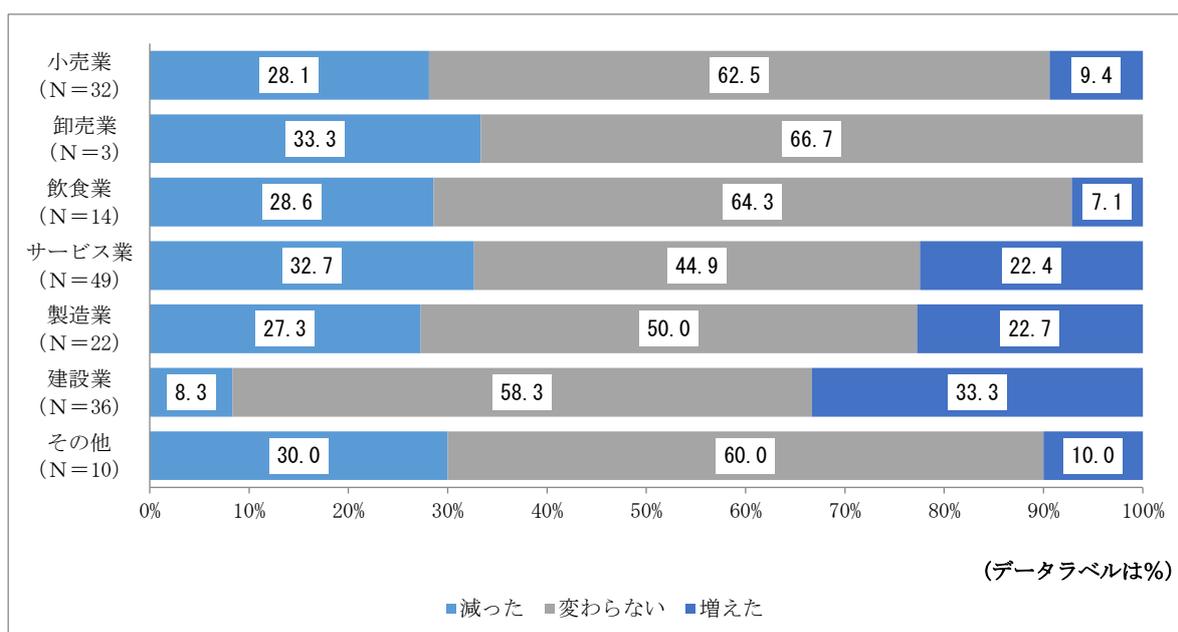
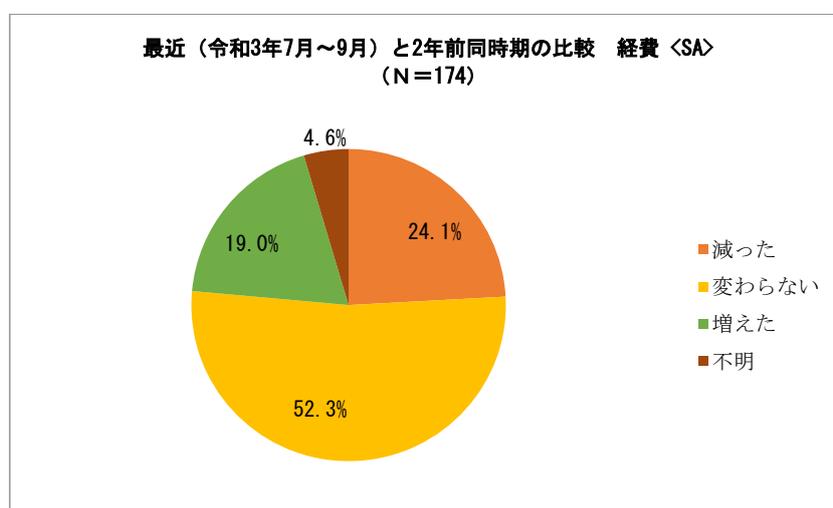
(オ) 経 費

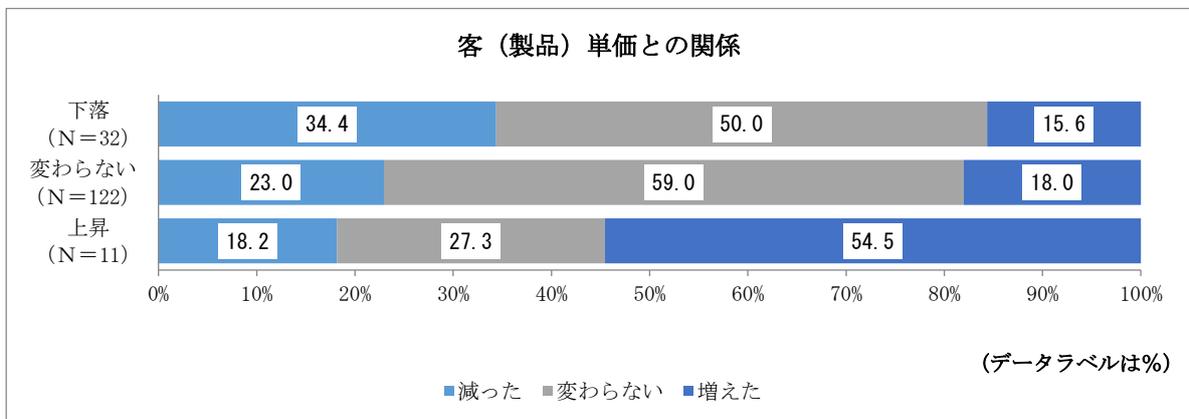
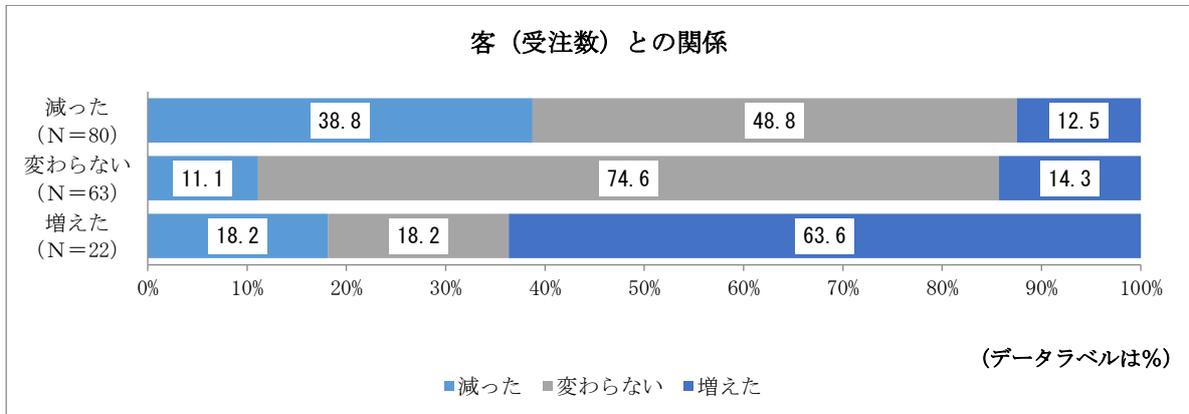
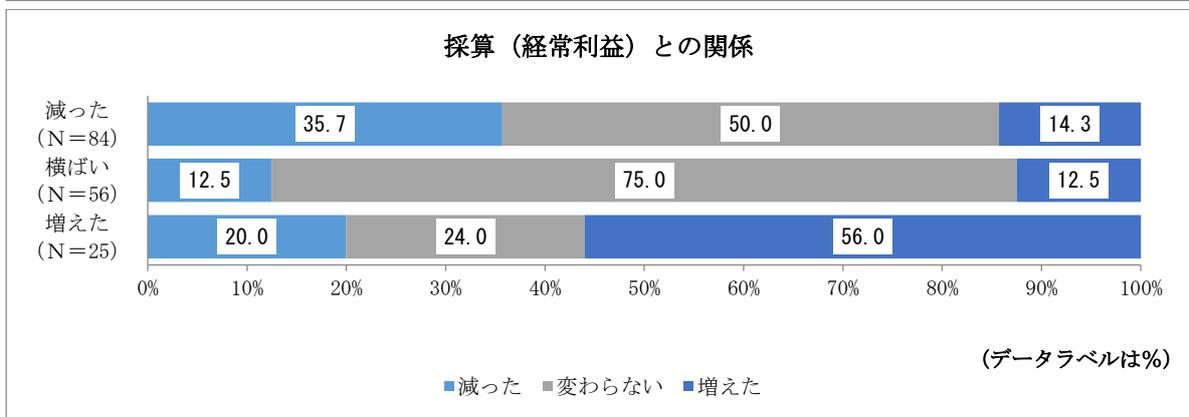
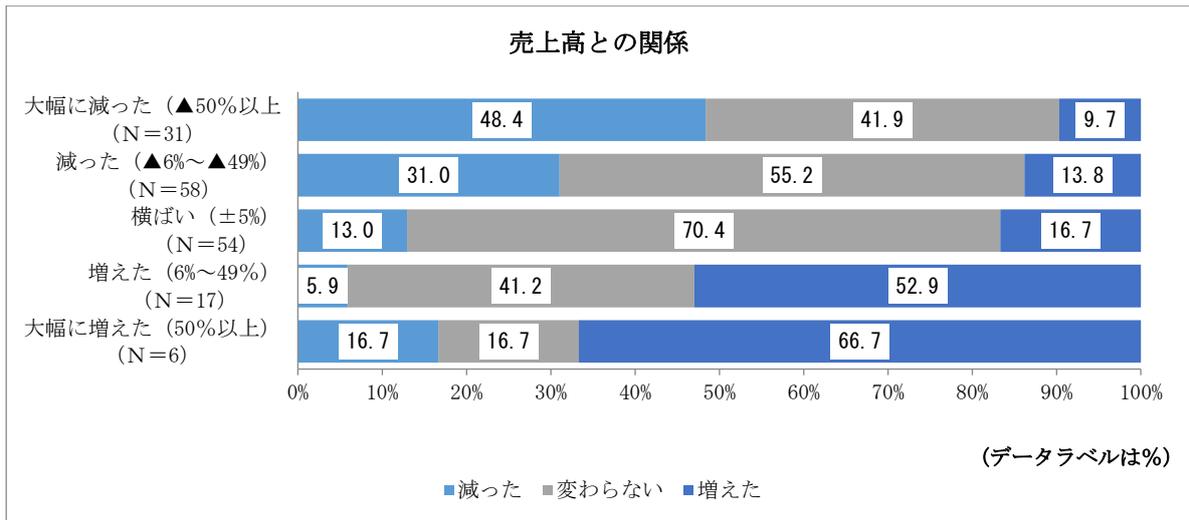
経費は「変わらない」と回答した事業者が52%となっている。

- ・業種別では、「増えた」と回答した事業者の割合は「建設業」で高くなっている。
- ・売上高との関係では、「(大幅に) 減った」と回答した事業者は経費が「減った」と回答した割合が高くなっており、「(大幅に) 増えた」と回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。

- ・採算（経常利益）との関係では、「減った」と回答した事業者は「減った」と回答した割合が高くなっており「増えた」と回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（受注）数との関係では、客（受注）数が「減った」と回答した事業者は経費が「減った」と回答した割合が高くなっている。「増えた」事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（製品）単価との関係では、客（製品）単価が「下落」したと回答した事業者は「減った」と回答した割合が高く、「上昇」したと回答した事業者は「増えた」と回答した割合が高くなっている。

	全 体	減った	変わらない	増えた	不明
件 数	174	42	91	33	8
%	100.0	24.1	52.3	19.0	4.6



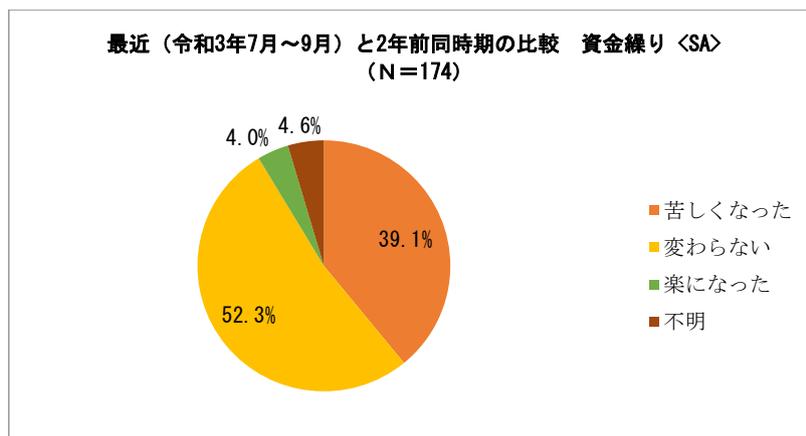


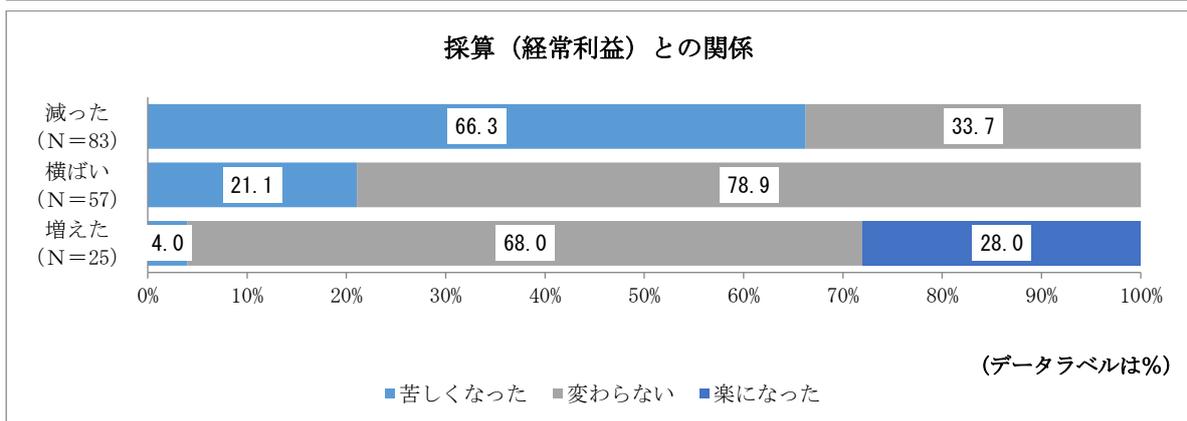
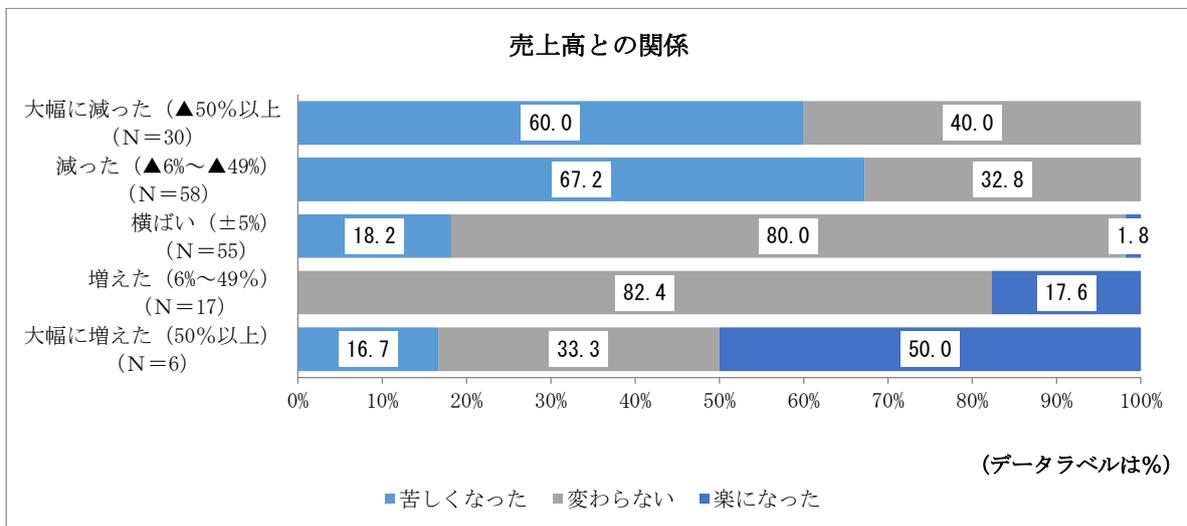
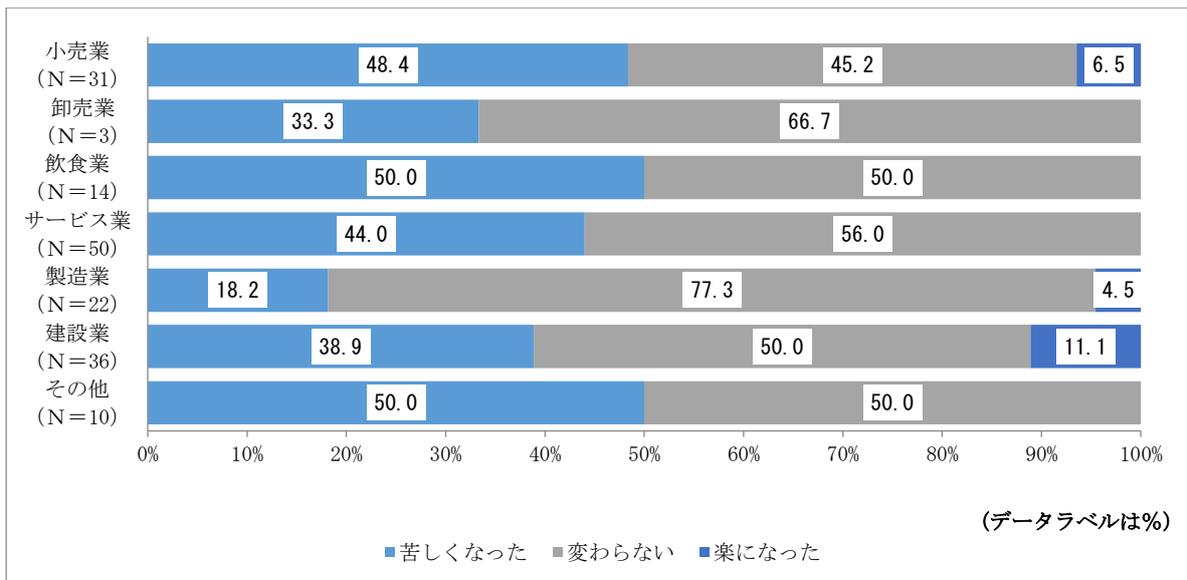
(カ) 資金繰り

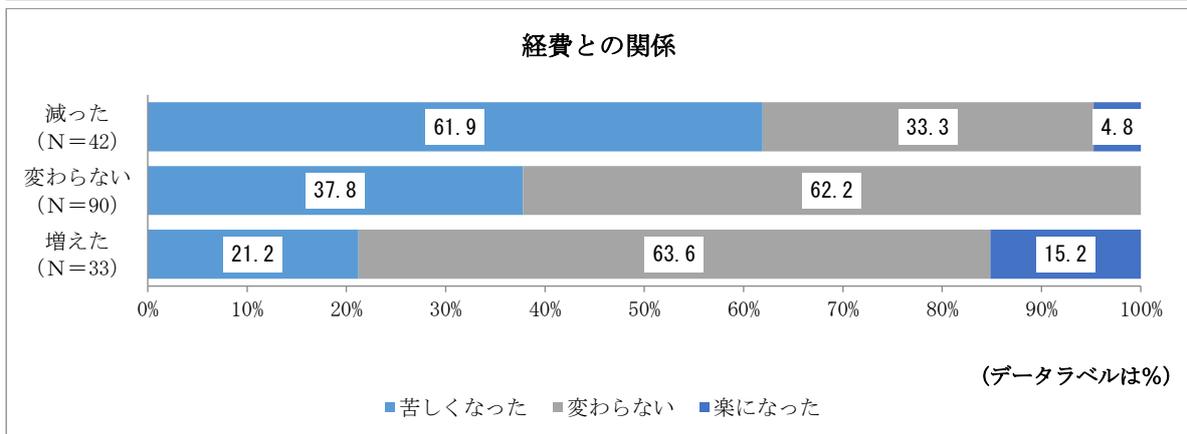
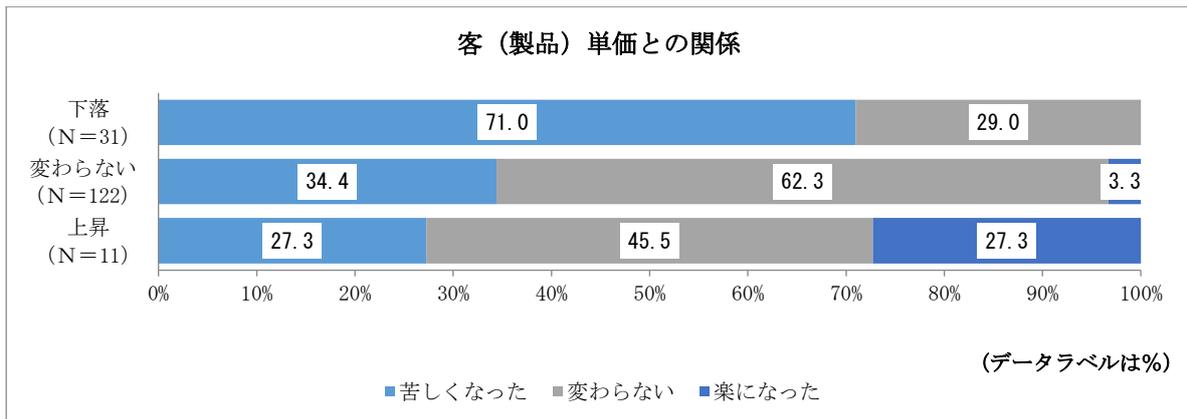
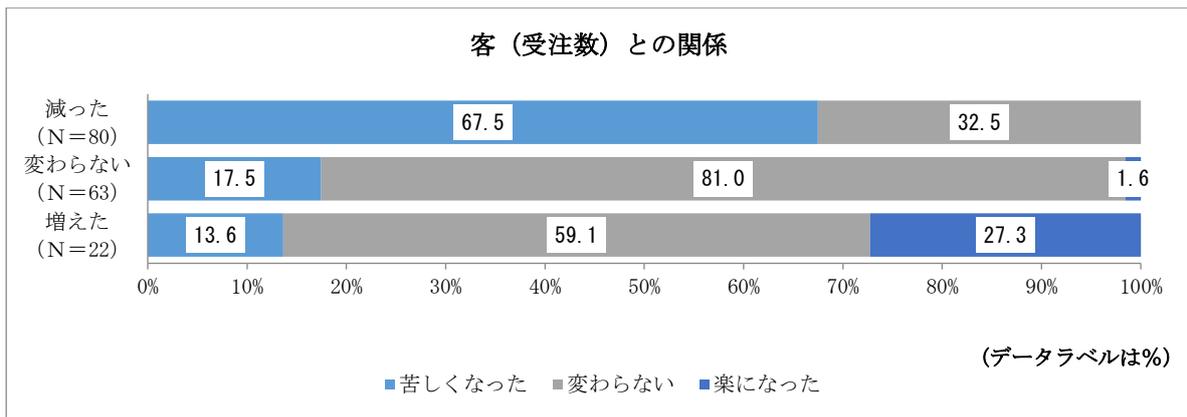
資金繰りは「変わらない」と回答した事業者が 52%を占めるが「苦しくなった」と回答した事業者も 39%あり、厳しい状況にある事業者が多い。

- ・業種別では「製造業」では「苦しくなった」と回答した割合が比較的少ない。
- ・売上高との関係では、売上高が「(大幅に) 減った」と回答した事業者は「苦しくなった」と回答した事業者の割合が高く、「(大幅) に増えた」と回答した事業者は「楽になった」と回答した割合が高くなっている。
- ・採算(経常利益)との関係では、採算(経常利益)が「減った」と回答した事業者は資金繰りが「苦しくなった」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「楽になった」と回答した割合が高くなっている。
- ・客(受注)数との関係では客(受注)数が「減った」と回答した事業者は「苦しくなった」と回答した割合が高く、「増えた」と回答した事業者は「楽になった」と回答した割合が高くなっている。
- ・客(製品)単価との関係では、客(製品)単価が「下落」と回答した事業者は資金繰りが「苦しくなった」と回答した割合が高く、「上昇」と回答した事業者は「楽になった」と回答している割合が高くなっている。
- ・経費との関係では、経費が「減った」と回答した事業者は「苦しくなった」と回答した割合が高くなっている。

	全体	苦しくなった	変わらない	楽になった	不明
件数	174	68	91	7	8
%	100.0	39.1	52.3	4.0	4.6







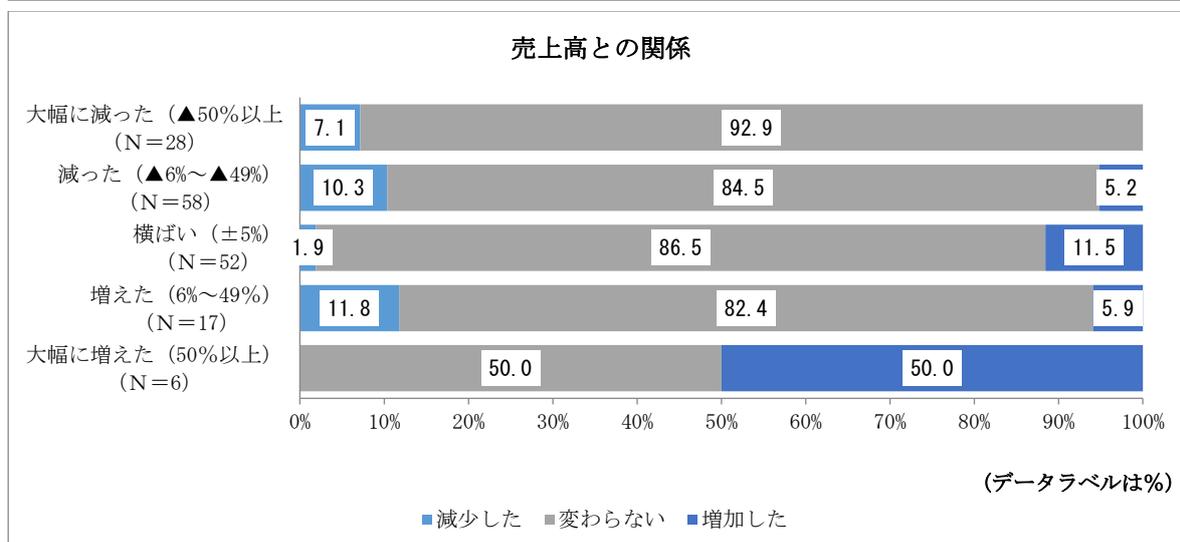
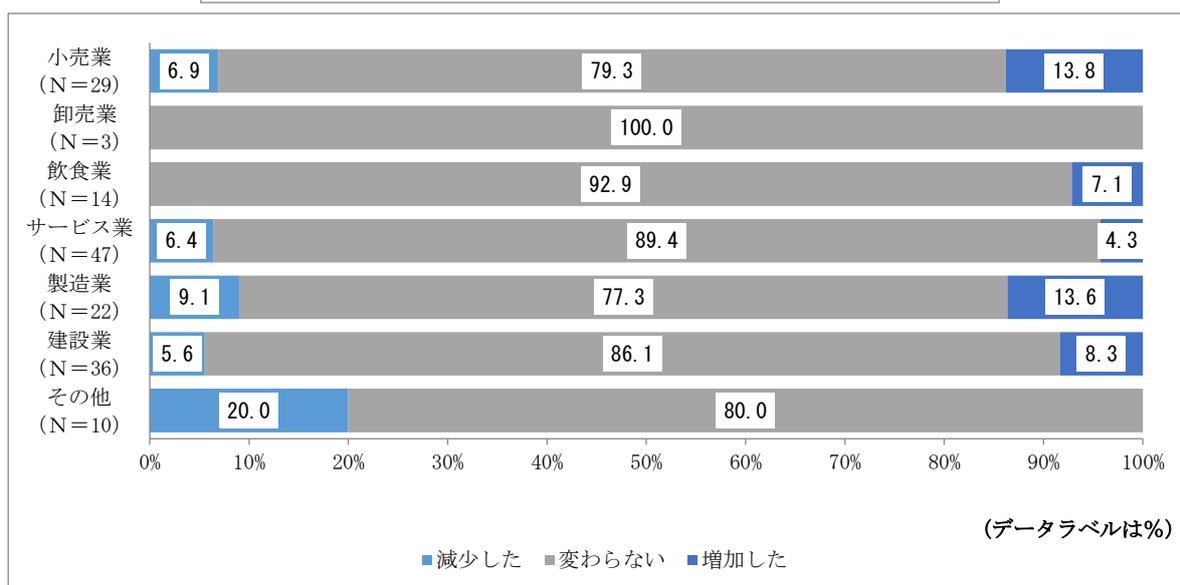
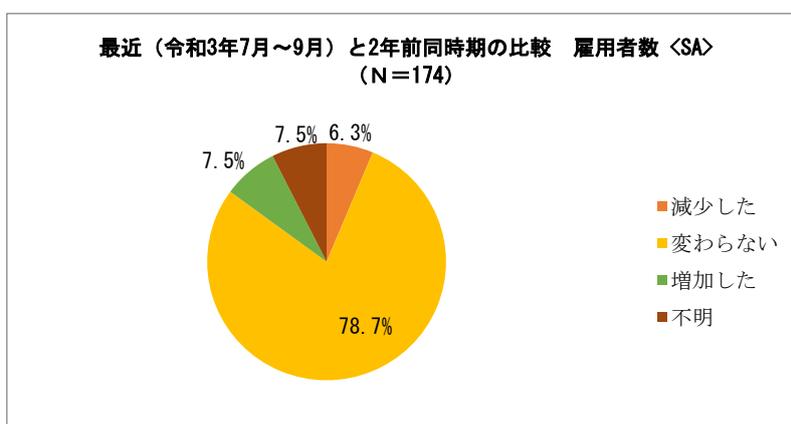
(キ) 雇用者数

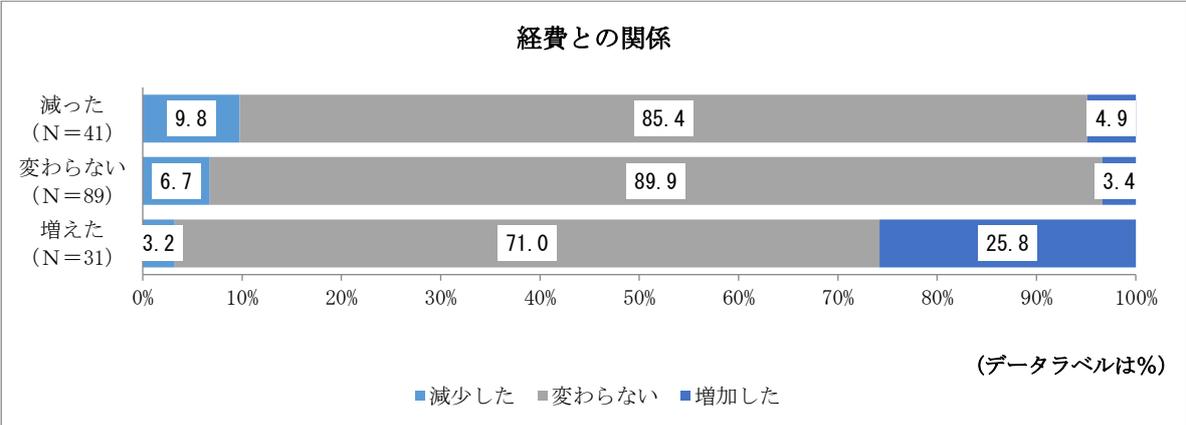
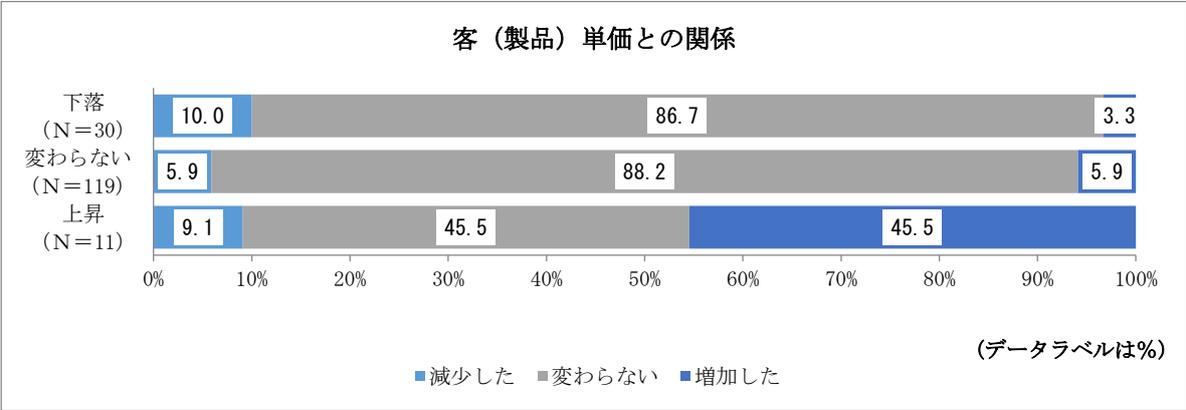
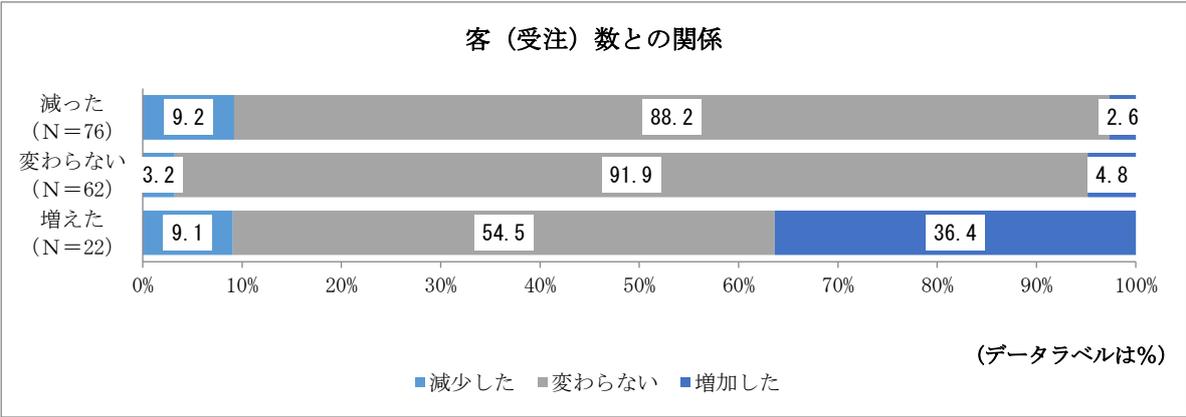
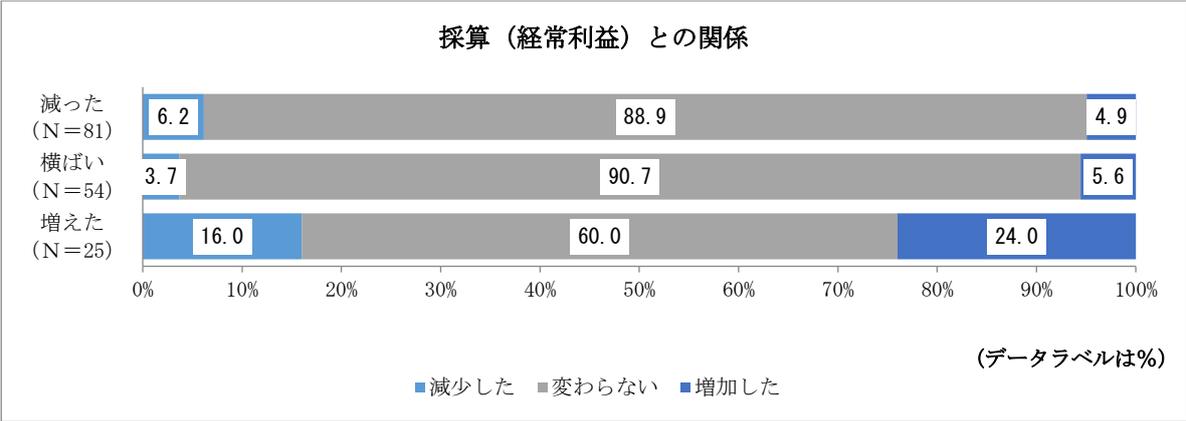
雇用者数は「変わらない」と回答した事業者がほとんどである。

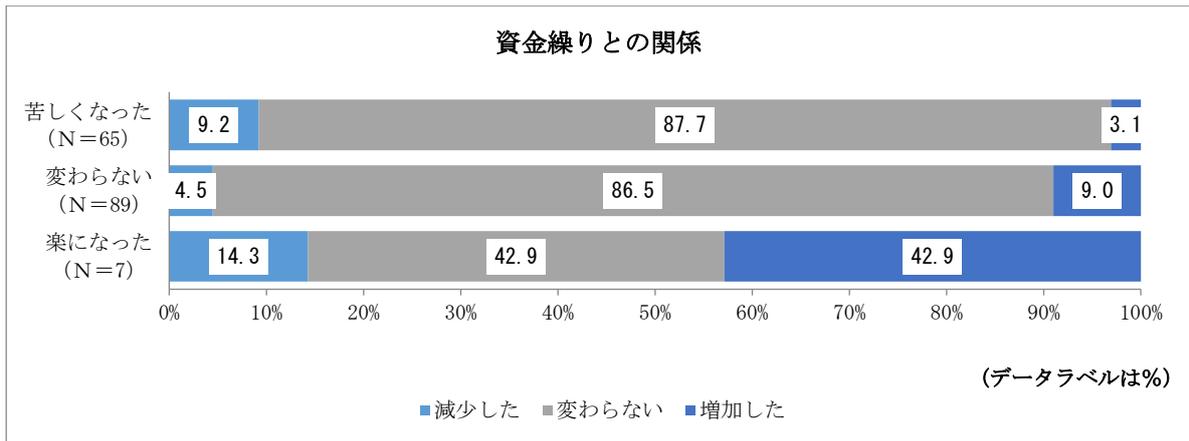
- ・業種別では「小売業」「製造業」で「増加した」割合が相対的に高くなっている。
- ・客（受注）数との関係では、客（受注）数が「増えた」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」と回答した割合が高くなっている。
- ・客（製品）単価との関係では、客（製品）単価が「上昇」と回答した事業者は雇用者数が「増加した」と回答した割合が高くなっている。
- ・経費との関係では、経費が「増えた」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」と回答した割合が高くなっている。

- ・資金繰りとの関係では、資金繰りが「楽になった」と回答した事業者で雇用者数が「増加した」割合が高くなっている。

	全体	減少した	変わらない	増加した	不明
件数	174	11	137	13	13
%	100.0	6.3	78.7	7.5	7.5







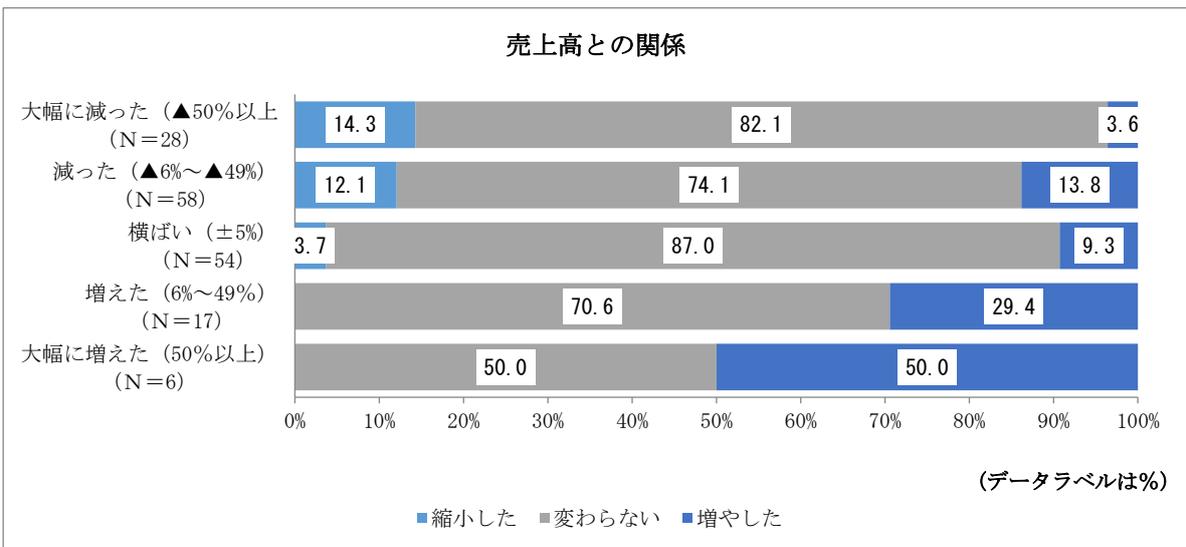
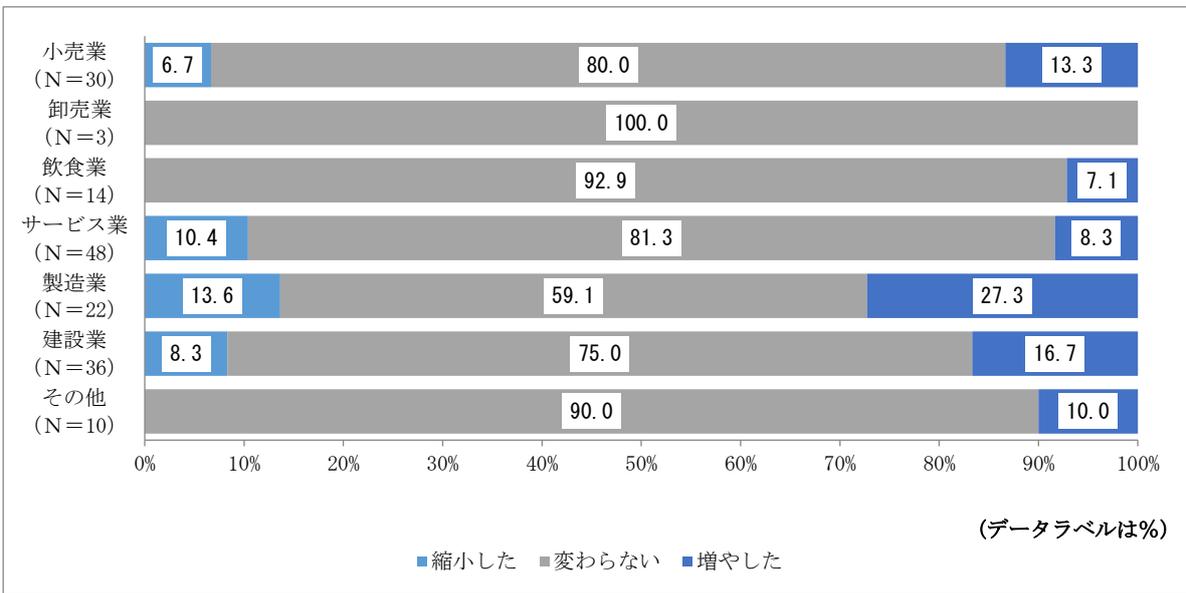
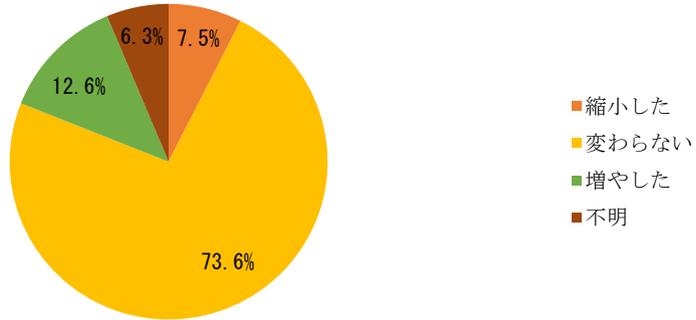
(ク) 設備投資

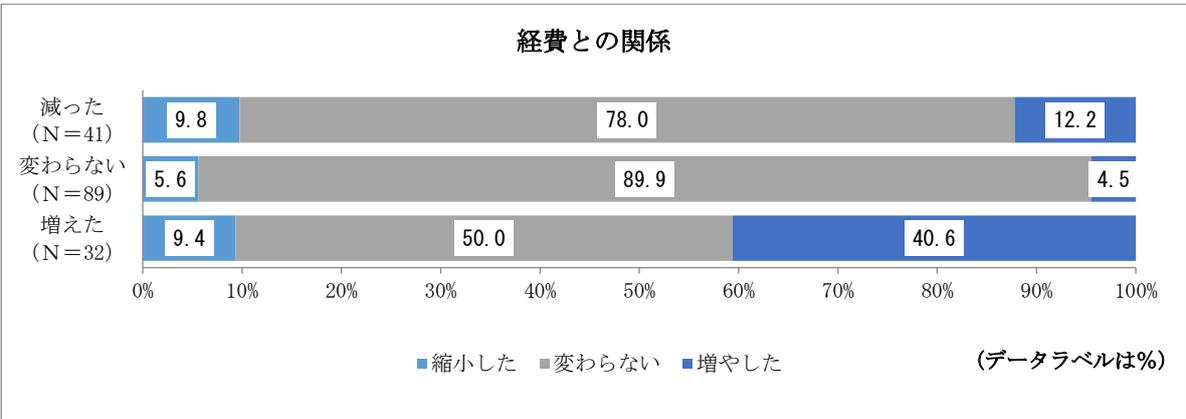
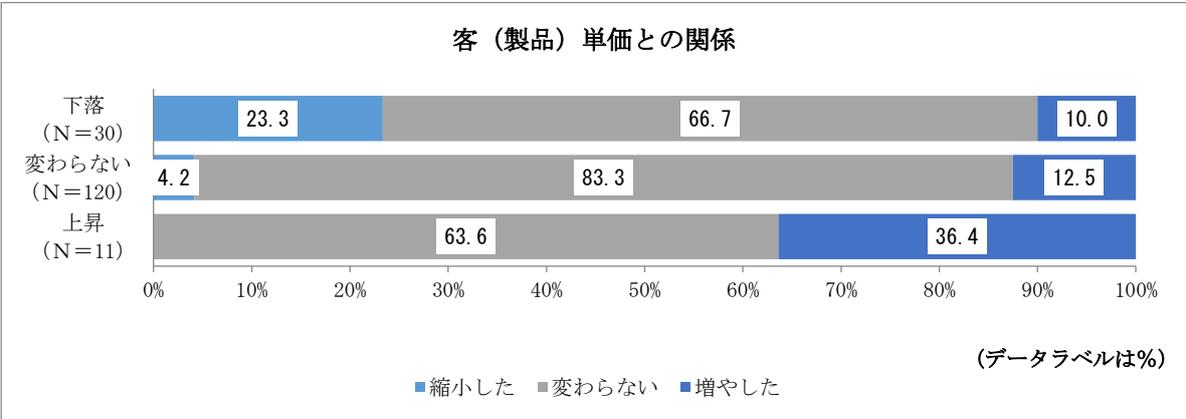
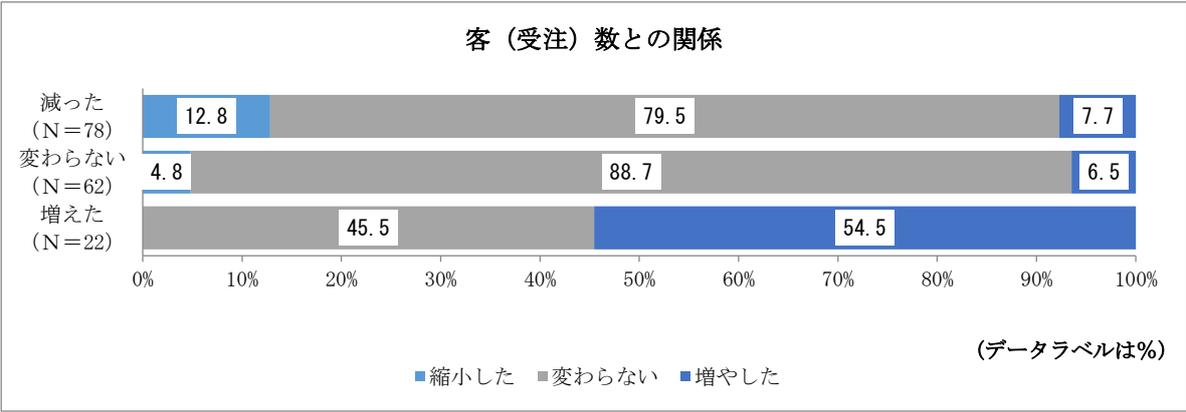
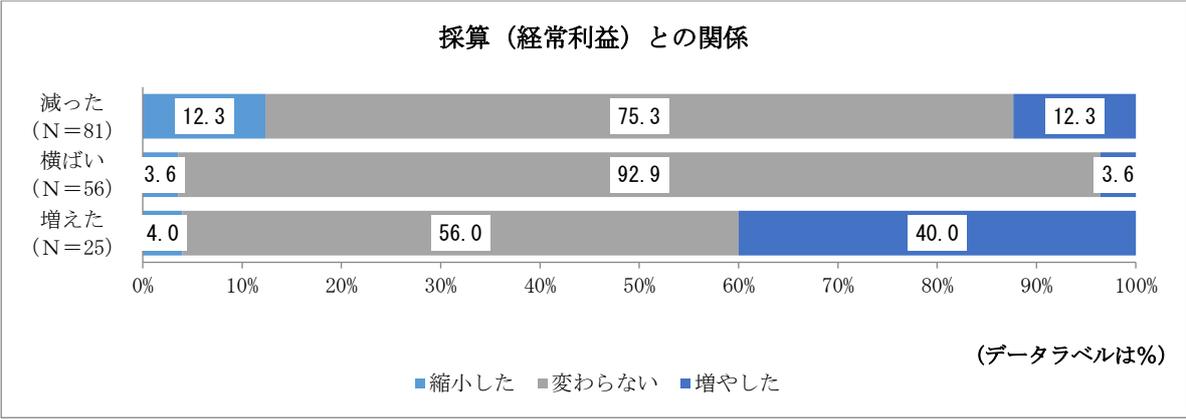
設備投資は「変わらない」とした事業者が 74%と多くを占めているが「増やした」とした事業者の方が「縮小した」とする事業者より若干多くなっている。

- ・業種別では「製造業」「建設業」が相対的に「増やした」割合が高くなっている。
- ・売上高との関係では売上高が「(大幅に) 増えた」と回答した事業者は「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・採算(経常利益)との関係では採算(経常利益)が「増えた」と回答した事業者では設備投資を「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・客(受注)数との関係では、客(受注)数が「増えた」と回答した事業者は設備投資を「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・客(製品)単価との関係では、客(製品)単価が「上昇」したと回答した事業者は設備投資を「増やした」と回答した割合が高く、「下落」と回答した事業者では「縮小した」と回答した割合が高くなっている。
- ・経費との関係では、経費が「増えた」と回答した事業者では設備投資を「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・資金繰りとの関係では、資金繰りが「楽になった」と回答した事業者は設備投資を「増やした」と回答した割合が高くなっている。
- ・雇用者数との関係では、雇用者数が「増加した」と回答した事業者は設備投資を「増やした」と回答した割合が高く、「減少した」回答した事業者では「縮小した」と回答した割合が高くなっている。

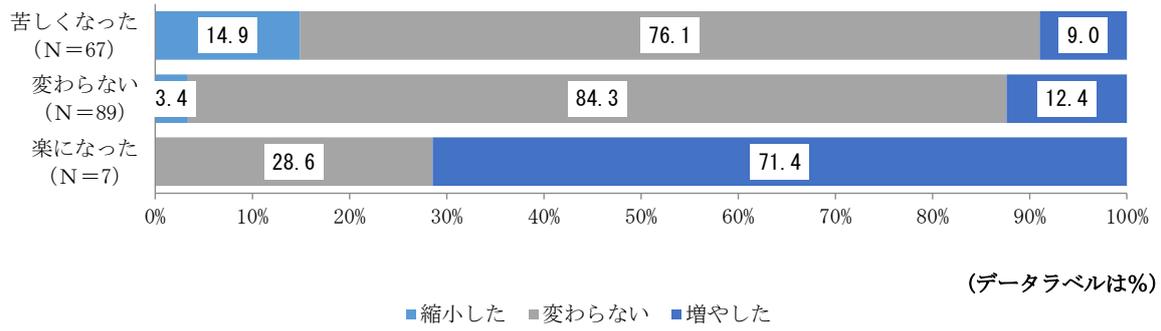
	全体	縮小した	変わらない	増やした	不明
件数	174	13	128	22	11
%	100.0	7.5	73.6	12.6	6.3

【Q2-16】最近（令和3年7月～9月）と2年前同時期の比較 設備投資 <SA>
(N=174)

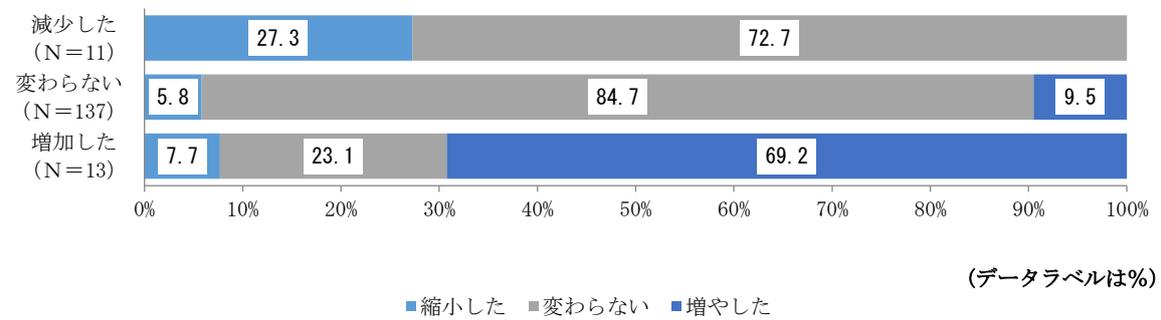




資金繰りとの関係



雇用者数との関係

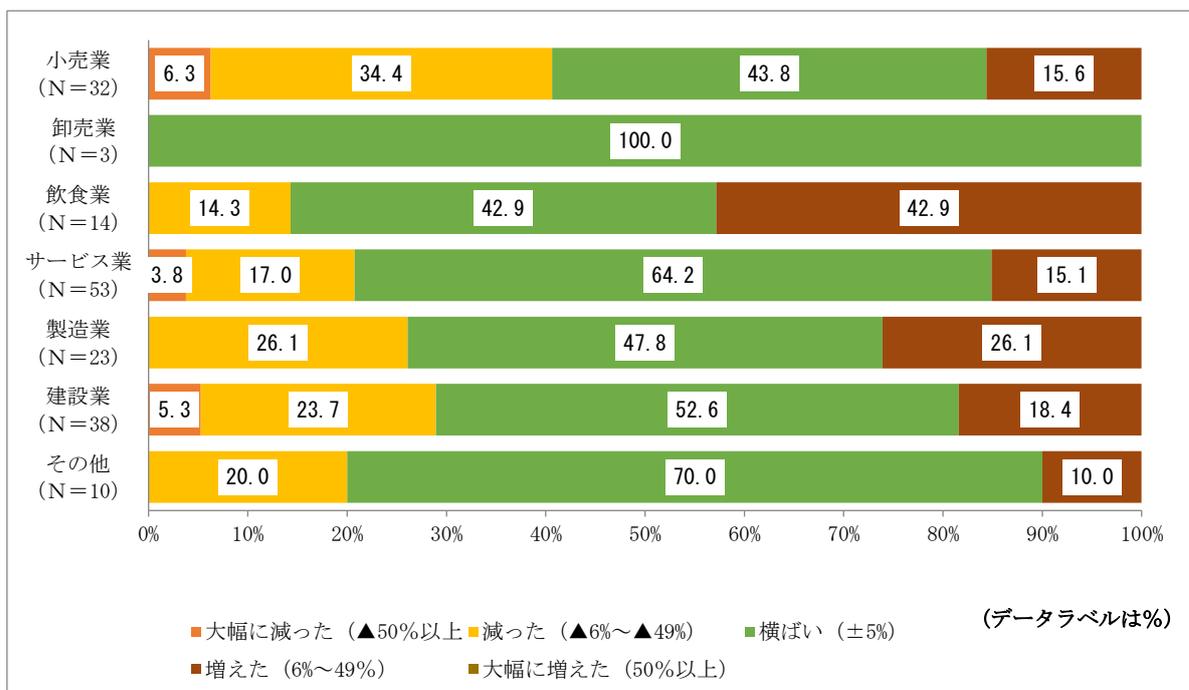
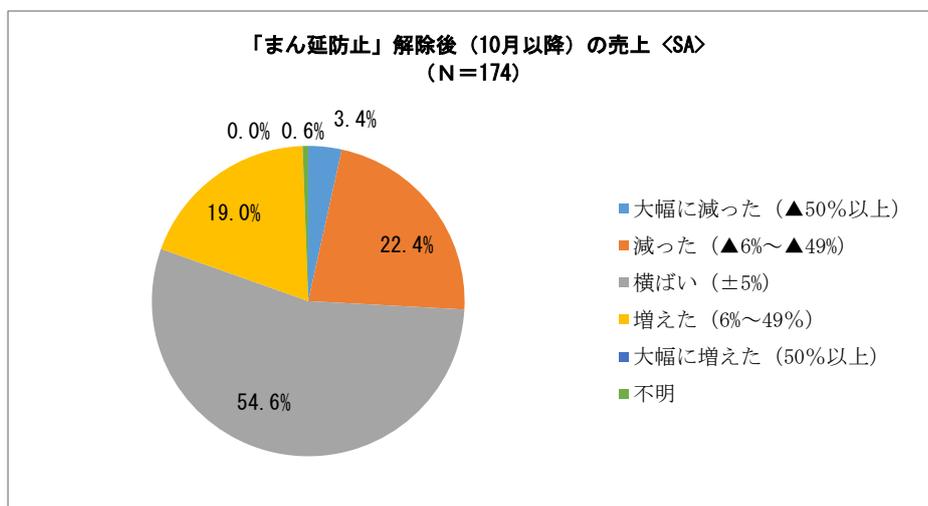


設問3 新型コロナウイルス感染症の影響と今後について

(ア) 「まん延防止」解除後（10月以降）の売上

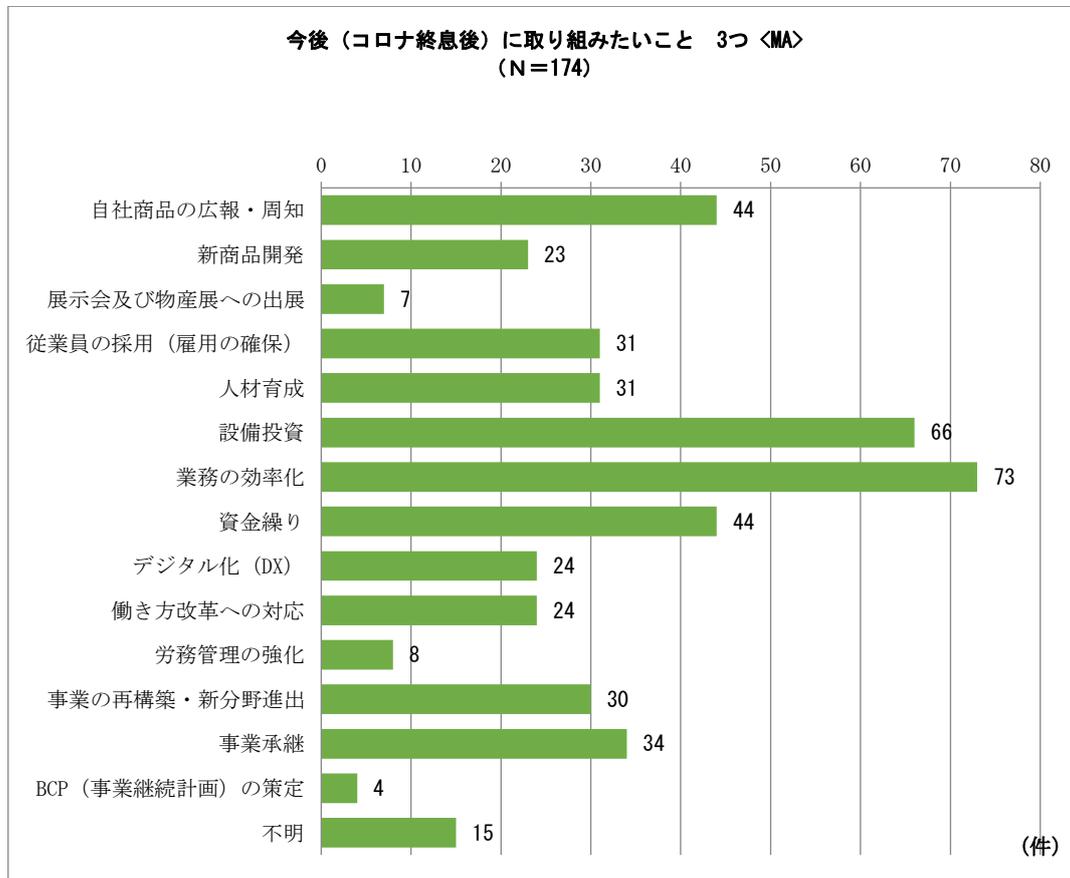
売上は「横ばい」と回答した事業者が55%と多く、「増えた」と回答した事業者は19%に留まっており、逆に「(大幅に)減った」事業者が26%と比較的多くなっている。業種別では「飲食業」で「増えた」割合が43%と高く、「小売業」は「(大幅に)減った」割合が41%と高くなっている。

	全体	大幅に減った (▲50%以上)	減った (▲6%~▲49%)	横ばい (±5%)	増えた (6%~49%)	大幅に増えた (50%以上)	不明
件数	174	6	39	95	33	0	1
%	100.0	3.4	22.4	54.6	19.0	0.0	0.6



(イ) 今後（コロナ終息後）に取り組みたいこと

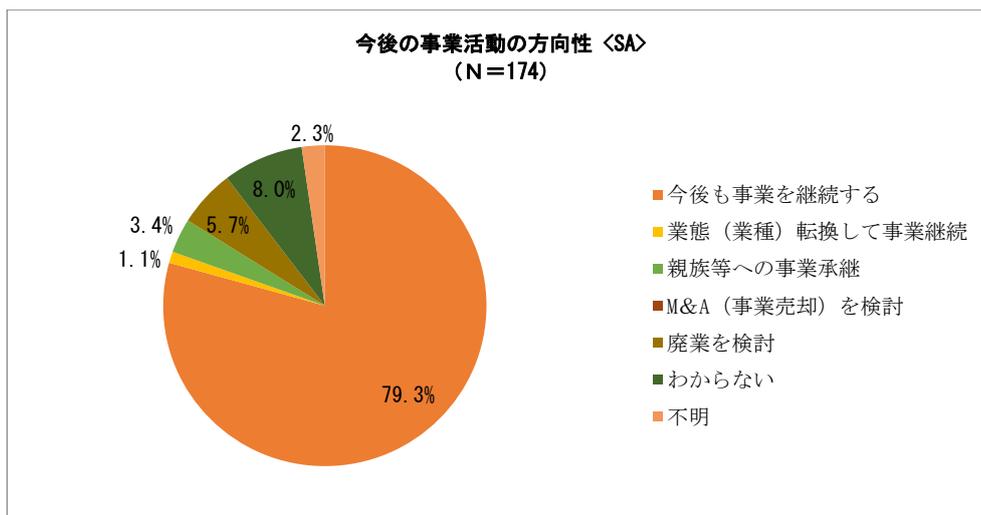
「業務の効率化」や「設備投資」が多く、競争力強化に向けた基盤づくりへの意識の高さがうかがえる。



(ウ) 今後の事業活動の方向性

約80%とほとんどの事業者は「今後も事業を継続する」と回答している。

	全体	今後も事業を継続する	業態（業種）転換して事業継続	親族等への事業承継	M&A（事業売却）を検討	廃業を検討	わからない	不明
件数	174	138	2	6	0	10	14	4
%	100.0	79.3	1.1	3.4	0.0	5.7	8.0	2.3

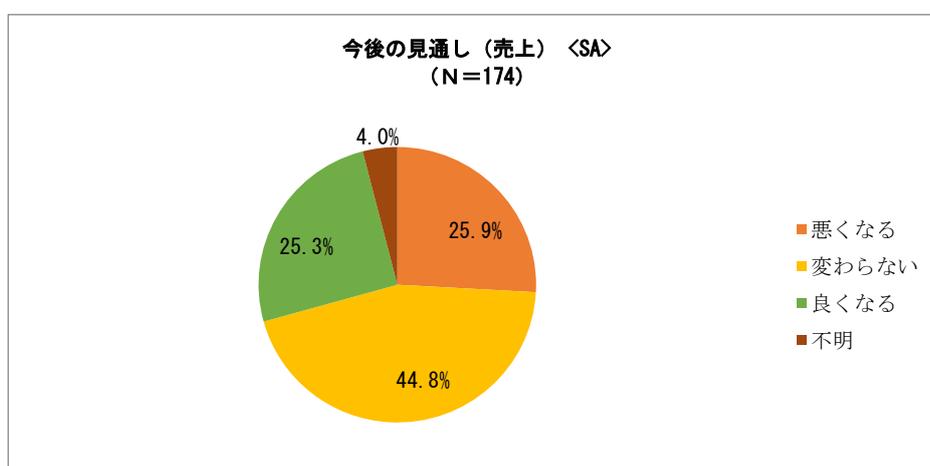


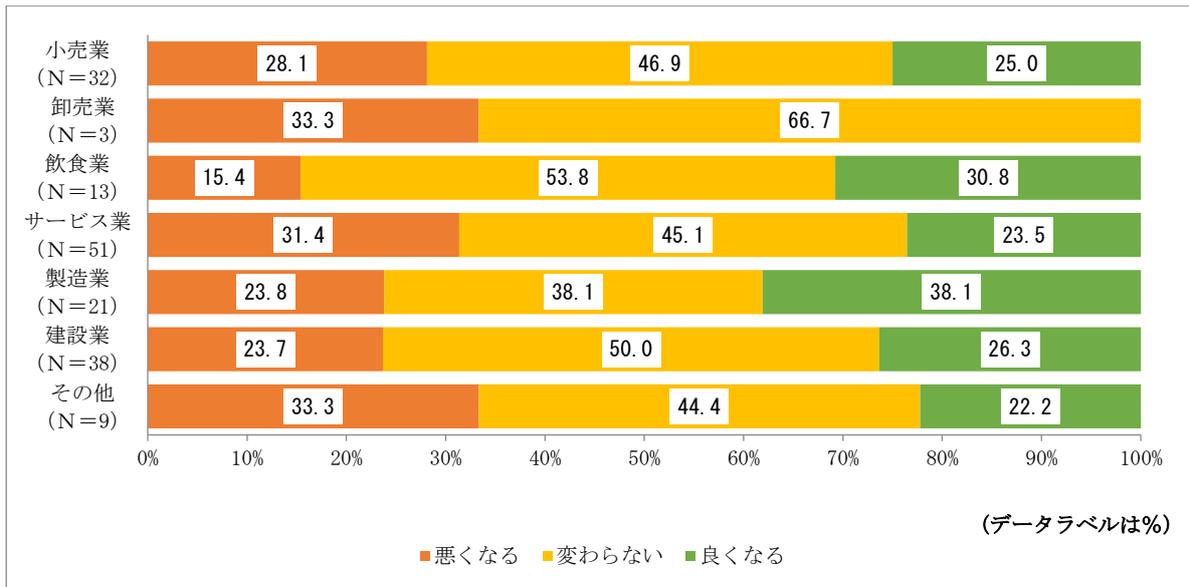
(エ) 今後の見通し（売上）

「変わらない」と回答した割合が 45%と多く、「良くなる」「悪くなる」と回答した割合は 25～26%とほぼ同水準となっている。

業種別では「製造業」「飲食業」で「良くなる」と回答した割合が相対的に高くなっている。

	全体	悪くなる	変わらない	良くなる	不明
件数	174	45	78	44	7
%	100.0	25.9	44.8	25.3	4.0



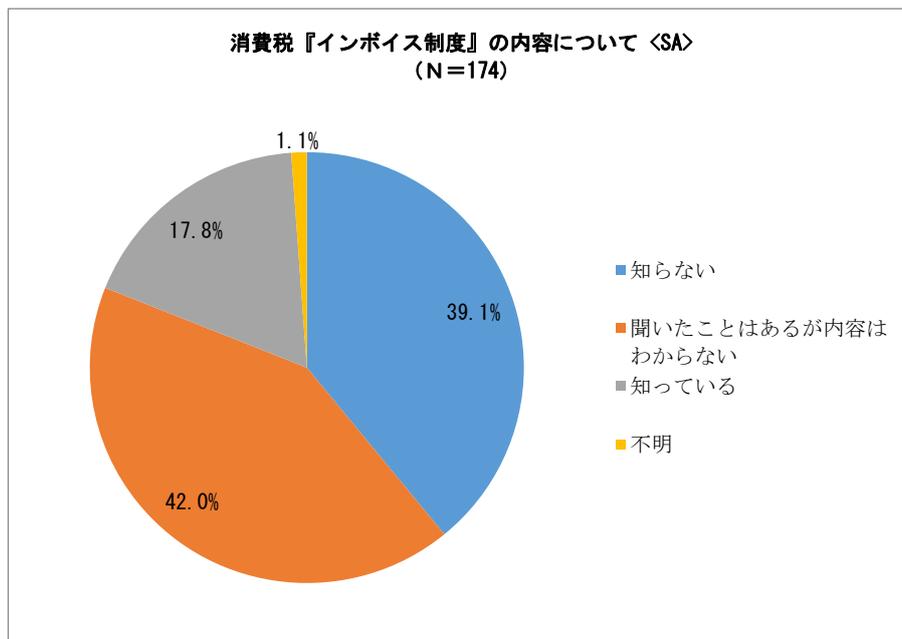


設問4 消費税『インボイス制度』について

(ア) 制度の内容について

「聞いたことはあるが内容はわからない」が42%と多く、「知らない」も39%で実質的にはほとんどの事業者が理解していないのが現状である。

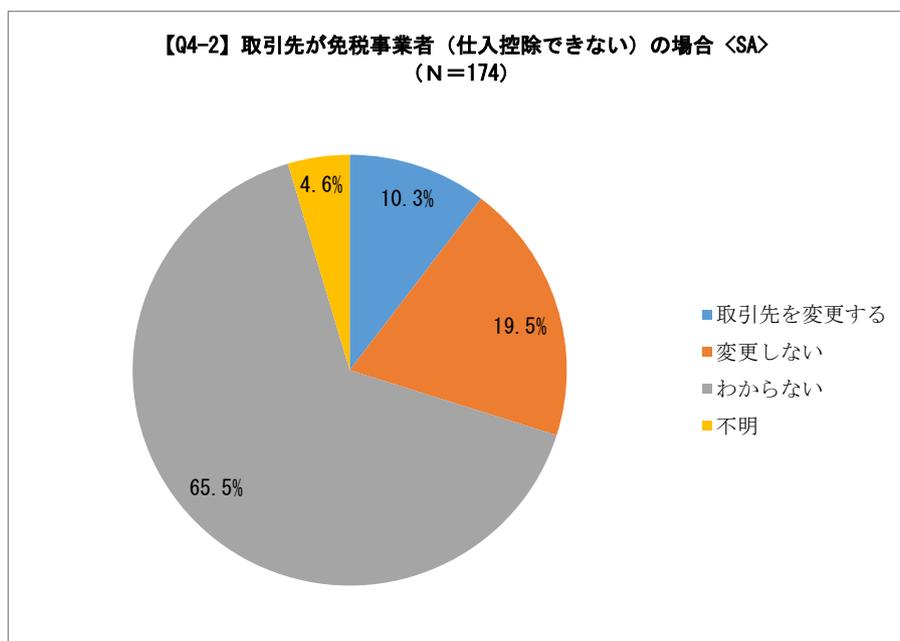
	全体	知らない	聞いたことはあるが内容はわからない	知っている	不明
件数	174	68	73	31	2
%	100.0	39.1	42.0	17.8	1.1



(イ) 取引先が免除事業者（仕入控除できない）の場合

制度自体の認識が低いこともあり「わからない」と回答した割合が多くなっている。

	全 体	取引先を変更する	変更しない	わからない	不明
件数	174	18	34	114	8
%	100.0	10.3	19.5	65.5	4.6



以 上

